

# 令和4年度第3回

## 新宿区

### 区政モニターアンケート報告書

- テーマ1 歌舞伎町ルネッサンスの推進について
- テーマ2 生涯を通じた女性の健康づくりについて
- テーマ3 受動喫煙防止対策について
- テーマ4 ユニバーサルデザインについて
- テーマ5 広報新宿について
- テーマ6 苦情処理機関「区民の声委員会」について



新宿区総合政策部区政情報課広聴係



# 目 次

I 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の概要	1
3 集計・分析結果を読む際の注意点	1
4 回答者の属性	2
II 調査の結果	5
テーマ1 歌舞伎町ルネッサンスの推進について	5
(1) 歌舞伎町に行く目的	5
(2) 今後の、歌舞伎町への来街意向	7
(3) 歌舞伎町ルネッサンスの認知状況	10
(4) 歌舞伎町の印象の変化	11
テーマ2 生涯を通じた女性の健康づくりについて	20
(1) 「女性の健康支援センター」の認知状況	20
(2) 女性の健康専門相談の認知状況	23
(3) ピンクリボン月間に実施している取組の認知	25
テーマ3 受動喫煙防止対策について	26
(1) 多数の人が利用する施設の原則屋内禁煙の認知	26
(2) 受動喫煙経験の有無	28
(3) 禁煙表示を参考にするか	30
(4) 分煙環境を現在よりも整備してほしいと思うか	32
(5) 分煙環境を整備してほしい場所	34
テーマ4 ユニバーサルデザインについて	36
(1) ユニバーサルデザインの認知状況	36
(2) ユニバーサルデザインについて、重要だと思うもの	38
(3) ユニバーサルデザインについて区に期待すること	40
テーマ5 広報新宿について	42
(1) 広報新宿の閲覧状況	42
(2) 広報新宿を閲覧する媒体	44
(3) 広報新宿の入手場所	46
(4) 広報新宿は読みやすくなったと思うか	48
(5) 広報新宿の改善された点	50
(6) 広報新宿の1面が良くなったと思うところ	52
(7) 広報新宿を読みやすくするための改善点	54
テーマ6 苦情処理機関「区民の声委員会」について	56

(1) 「新宿区区民の声委員会」の認知度 .....	56
(2) 「新宿区区民の声委員会」に相談したい案件の有無.....	57
Ⅲ 資料（調査票） .....	58

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

この調査は、今日的な区政課題への迅速な対応の検討や的確な事業執行を進める上での基礎資料とするため、区政モニターの方を対象にアンケート調査を実施し、今後の区政運営の参考とするものである。

## 2 調査の概要

《第3回》	調査対象	区政モニター 992名
	調査内容	テーマ1 歌舞伎町ルネッサンスの推進について
		テーマ2 生涯を通じた女性の健康づくりについて
		テーマ3 受動喫煙防止対策について
		テーマ4 ユニバーサルデザインについて
		テーマ5 広報新宿について
		テーマ6 苦情処理機関「区民の声委員会」について
	調査期間	令和4年11月4日～令和4年11月18日
調査方法	郵送配布・郵送回収	
回答数	891票（回収率 89.8%）	

## 3 集計・分析結果を読む際の注意点

- 「調査結果」の図表は、原則として回答者の構成比（百分率）で表している。
- 「n」は、「Number of case」の略で、構成比算出の母数を示している。
- 「MT」は、「Multiple Total」の略で、複数回答の合計数を示している。
- 回答はすべて百分率（%）で表し、小数点以下第2位を四捨五入している。そのため、その数値の合計は100%を前後する場合がある。
- 複数回答の設問では、すべての比率の合計が100%を超えることがある。
- 複数の選択肢をあわせた項目の構成比（%）は、その選択肢の選択者数を基数で除して算出している。そのため、各選択肢の構成比を足し上げた数値と差が生じることがある。
- 図表中の「0.0」は四捨五入の結果または回答者が皆無であることを表す。
- クロス集計の分析軸となる項目に「無回答」がある場合、これを表示していない。よって「全体」の数値と各項目の和が一致しない場合がある。

統計の数値を考察するにあたり、本報告書では次の表現を用いる。

(例)	(表現)
80.1～80.9%	⇒ 約8割
81.0～82.9%	⇒ 8割強
83.0～84.9%	⇒ 8割台半ば近く
85.0～85.9%	⇒ 8割台半ば
86.0～87.9%	⇒ 8割台半ばを超え
88.0～88.9%	⇒ 9割近く
89.0～89.9%	⇒ 9割弱

## I 調査の概要

○ライフステージの名称及び内容は、以下のとおりである。

独身期：40歳未満の独身者

家族形成期：子どものいない40歳未満の夫婦、または一番上の子どもが入学前の人

家族成長前期：一番上の子どもが小・中学生の人

家族成長後期：一番上の子どもが高校・大学生の人

家族成熟期：64歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人

(生計を別にした子どもがいる人を含む)

高齢期：65歳以上の人(生計を別にした子どもがいる人を含む)

その他：40歳から64歳の独身者、子どものいない40歳から64歳の夫婦など

## 4 回答者の属性

### (1) 居住地域

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1 四谷	115	12.9	6 戸塚	108	12.1
2 簞笥町	117	13.1	7 落合第一	94	10.5
3 榎町	87	9.8	8 落合第二	69	7.7
4 若松町	99	11.1	9 柏木	66	7.4
5 大久保	94	10.5	10 角筈・区役所	42	4.7
			計	891	100.0%

### (2) 性別

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1 男性	357	40.1	3 自由回答	3	0.3
2 女性	489	54.9	無回答	42	4.7
			計	891	100.0%

### (3) 年齢

選択肢	回答数	割合(%)	選択肢	回答数	割合(%)
1 18~19歳	3	0.3	9 55~59歳	88	9.9
2 20~24歳	22	2.5	10 60~64歳	75	8.4
3 25~29歳	29	3.3	11 65~69歳	58	6.5
4 30~34歳	44	4.9	12 70~74歳	76	8.5
5 35~39歳	79	8.9	13 75~79歳	41	4.6
6 40~44歳	86	9.7	14 80歳以上	68	7.6
7 45~49歳	116	13.0	無回答	5	0.6
8 50~54歳	101	11.3	計	891	100.0%

(4) 職業

選択肢	回答数	割合 (%)	選択肢	回答数	割合 (%)
1 会社員・団体職員	358	40.2	5 学生	18	2.0
2 会社役員・団体役員	59	6.6	6 専業主婦・主夫	103	11.6
3 パート・アルバイト、 非常勤、嘱託、派遣など	128	14.4	7 無職	118	13.2
4 自営業、自由業	87	9.8	8 その他	10	1.1
			無回答	10	1.1
			計	891	100.0%

(5) 職場や学校の所在地

選択肢	回答数	割合 (%)
1 新宿区内	244	37.5
2 新宿区外	397	61.1
無回答	9	1.4
計	650	100.0%

(6) 同居している家族等

選択肢	回答数	割合 (%)	選択肢	回答数	割合 (%)
1 子	341	38.3	6 兄弟姉妹	42	4.7
2 妻または夫	547	61.4	7 その他	27	3.0
3 親	106	11.9	8 ひとり暮らし	184	20.7
4 祖父母	4	0.4	無回答	9	1.0
5 孫	16	1.8	回答総計	1,276	143.2%
			計	891	100.0%

(7) 同居者数

選択肢	回答数	割合 (%)	選択肢	回答数	割合 (%)
1 1人	314	45.0	4 4人	37	5.3
2 2人	197	28.2	5 5人以上	20	2.9
3 3人	124	17.8	無回答	6	0.9
			計	698	100.0%

(8) 同居している子

選択肢	回答数	割合 (%)	選択肢	回答数	割合 (%)
1 一番上の子が小学校入学前	71	20.8	4 一番上の子が学校を卒業	103	30.2
2 一番上の子が小・中学生	92	27.0	無回答	9	2.6
3 一番上の子が高・大学生	66	19.4	計	341	100.0%

## I 調査の概要

### (9) 新宿区での居住年数

選択肢	回答数	割合 (%)	選択肢	回答数	割合 (%)
1 1年未満	0	0.0	5 10年以上20年未満	191	21.4
2 1年以上3年未満	49	5.5	6 20年以上30年未満	139	15.6
3 3年以上5年未満	86	9.7	7 30年以上	267	30.0
4 5年以上10年未満	150	16.8	無回答	9	1.0
			計	891	100.0%

### (10) 住居形態

選択肢		回答数	割合 (%)
一戸建て	1 持ち家の一戸建て	236	26.5
	2 賃貸の一戸建て	18	2.0
	3 社宅・公務員官舎の一戸建て	6	0.7
	4 その他	9	1.0
集合住宅	5 分譲マンション・アパート	294	33.0
	6 賃貸マンション・アパート	249	27.9
	7 賃貸のUR都市機構（旧公団）・公社のマンション・アパート	3	0.3
	8 賃貸の都営・区営住宅	37	4.2
	9 社宅・公務員官舎	19	2.1
	10 その他	9	1.0
無回答		11	1.2
計		891	100.0%

### (11) ライフステージ

選択肢	回答数	割合 (%)	選択肢	回答数	割合 (%)
1 独身期	119	13.4	5 家族成熟期	51	5.7
2 家族形成期	71	8.0	6 高齢期	243	27.3
3 家族成長前期	91	10.2	7 その他	246	27.6
4 家族成長後期	64	7.2	無回答	6	0.7
			計	891	100.0%



## Ⅱ 調査の結果

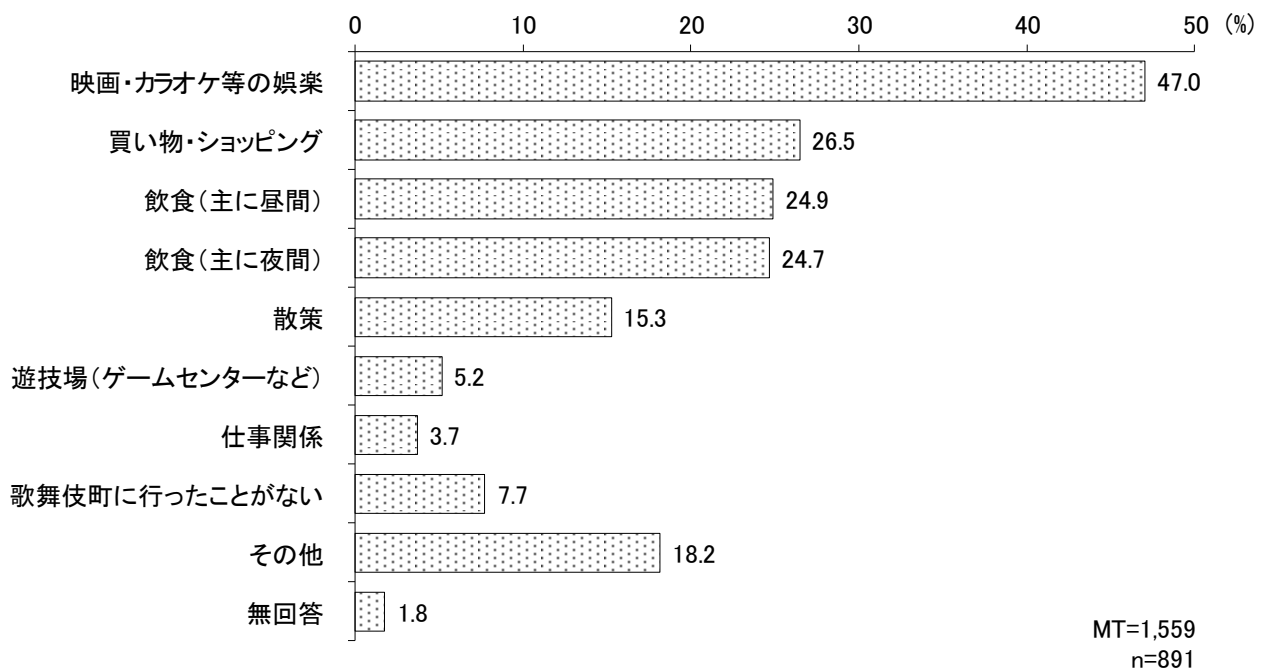
### テーマ1 歌舞伎町ルネッサンスの推進について

#### (1) 歌舞伎町に行く目的

◎「映画・カラオケ等の娯楽」が4割台半ばを超え

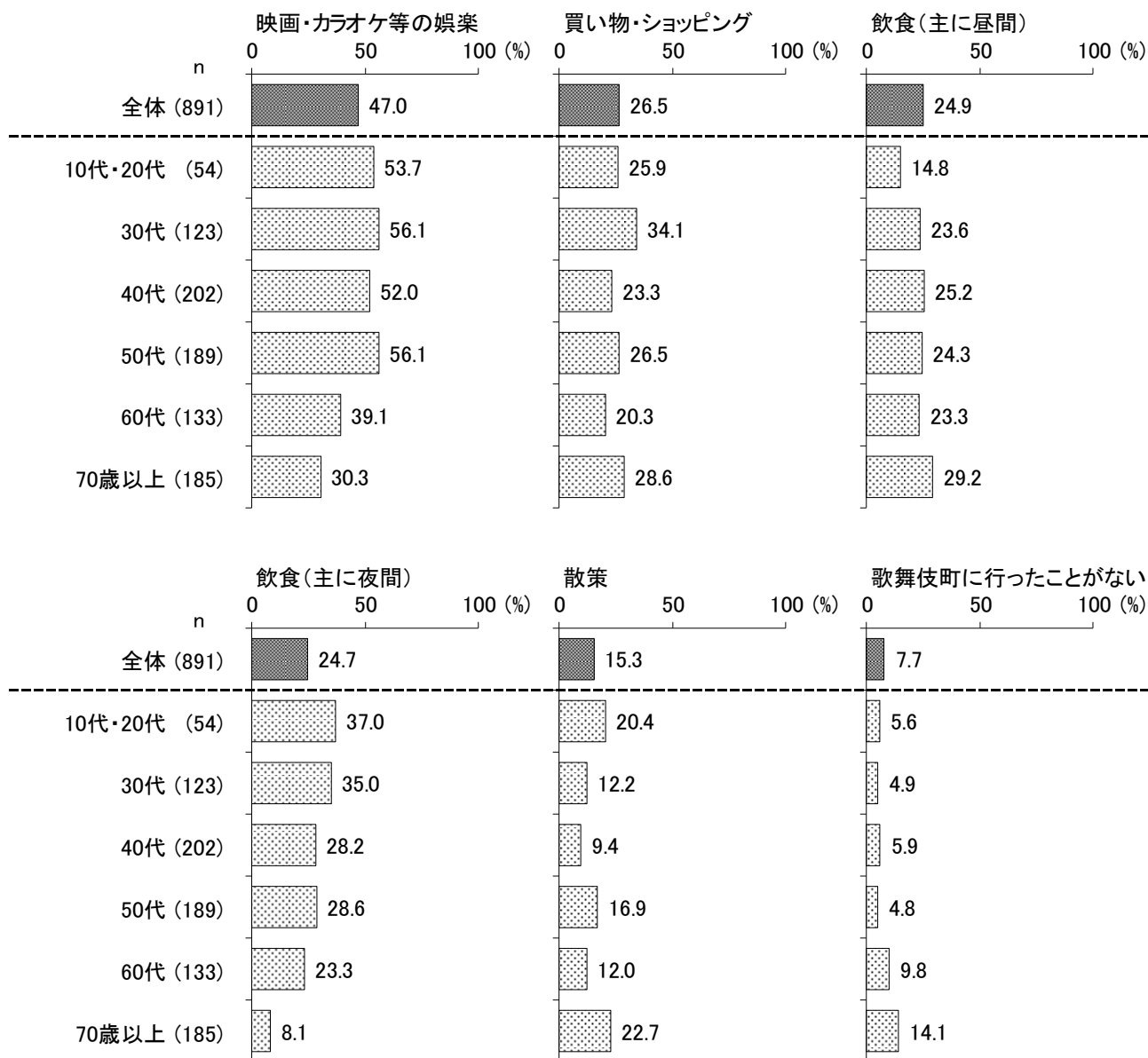
問1 歌舞伎町に行く主な目的は何ですか。(あてはまるものに3つまで○をつけてください)		(n=891)
1	買い物・ショッピング	26.5%
2	映画・カラオケ等の娯楽	47.0
3	散策	15.3
4	遊技場(ゲームセンターなど)	5.2
5	仕事関係	3.7
6	飲食(主に昼間)	24.9
7	飲食(主に夜間)	24.7
8	歌舞伎町に行ったことがない	7.7
9	その他	18.2
	無回答	1.8

図1-1-1 歌舞伎町に行く目的



歌舞伎町に行く目的について、「映画・カラオケ等の娯楽」(47.0%)が4割台半ばを超え最も高く、次いで「買い物・ショッピング」(26.5%)が2割台半ばを超え、「飲食(主に昼間)」(24.9%)及び「飲食(主に夜間)」(24.7%)が2割台半ば近くと続いている。(図1-1-1)

図1-1-2 歌舞伎町に行く目的  
（年代別）  
上位5項目+「歌舞伎町に行ったことがない」



上位5項目及び「歌舞伎町に行ったことがない」について、年代別でみると、「飲食（主に夜間）」は10代・20代（37.0%）が3割台半ばを超え、全体（24.7%）を12.3ポイント上回っている。

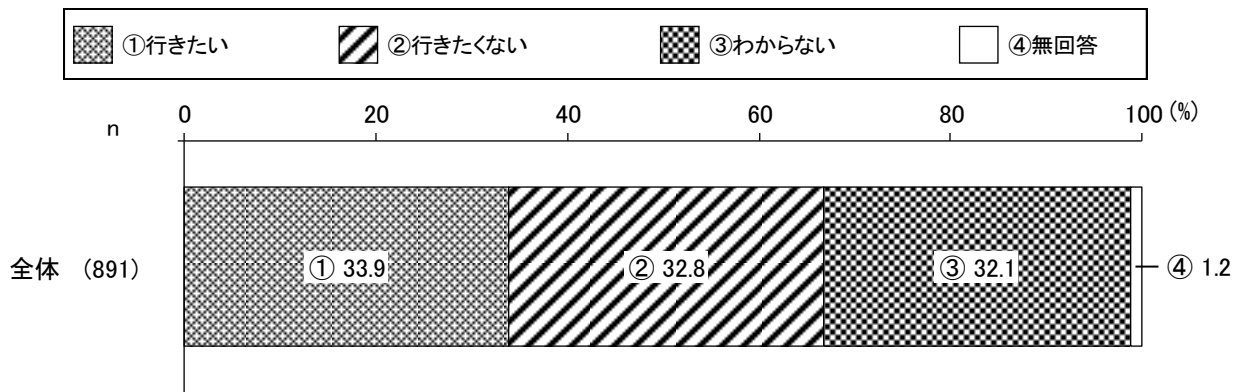
（図1-1-2）

(2) 今後の、歌舞伎町への来街意向

◎今後、「行きたい」が3割台半ば近く

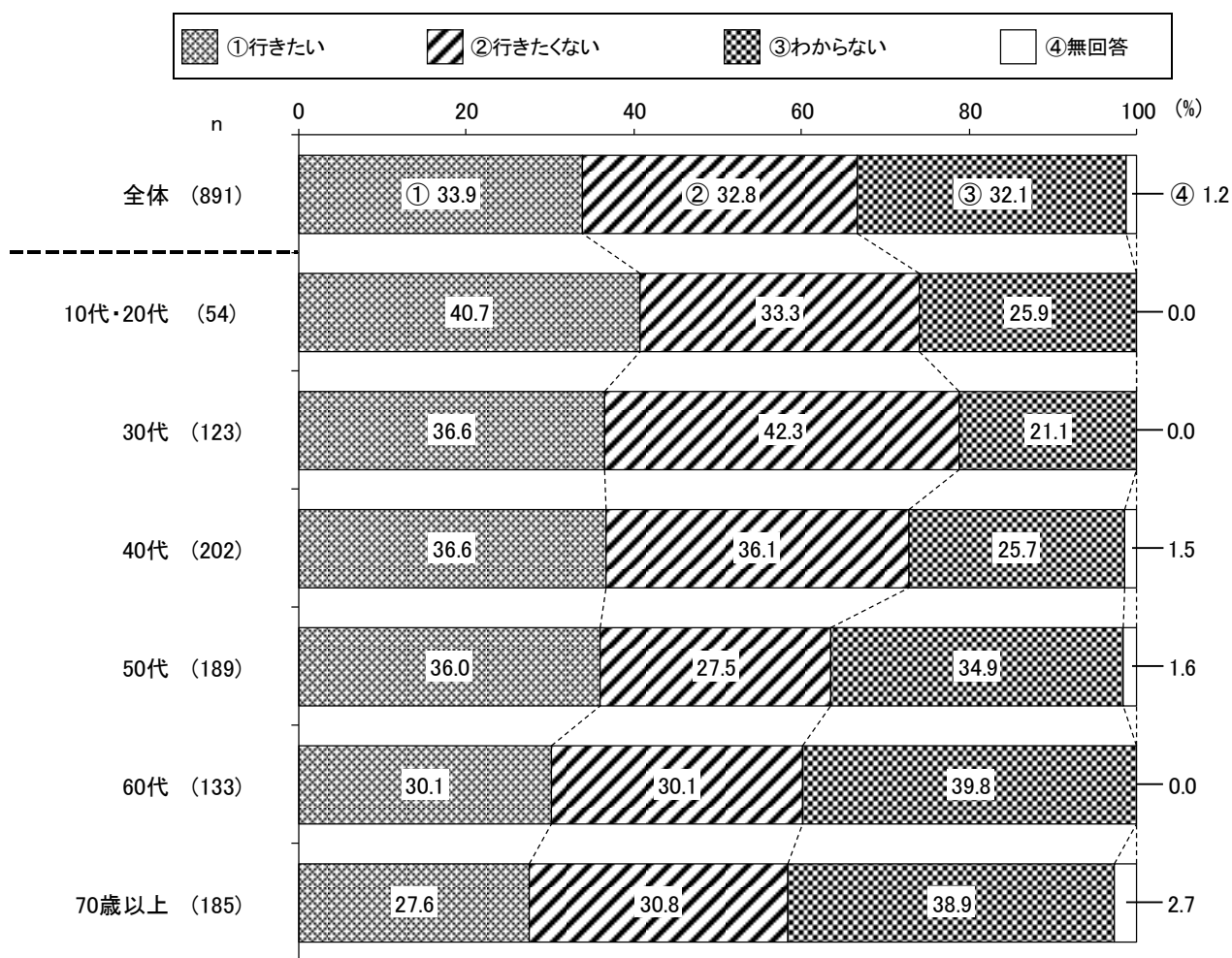
問2 あなたは今後、歌舞伎町へ行きたいと思いますか。(〇は1つ)		(n=891)
1	行きたい	33.9%
2	行きたくない	32.8
3	わからない	32.1
	無回答	1.2

図1-2-1 今後の、歌舞伎町への来街意向



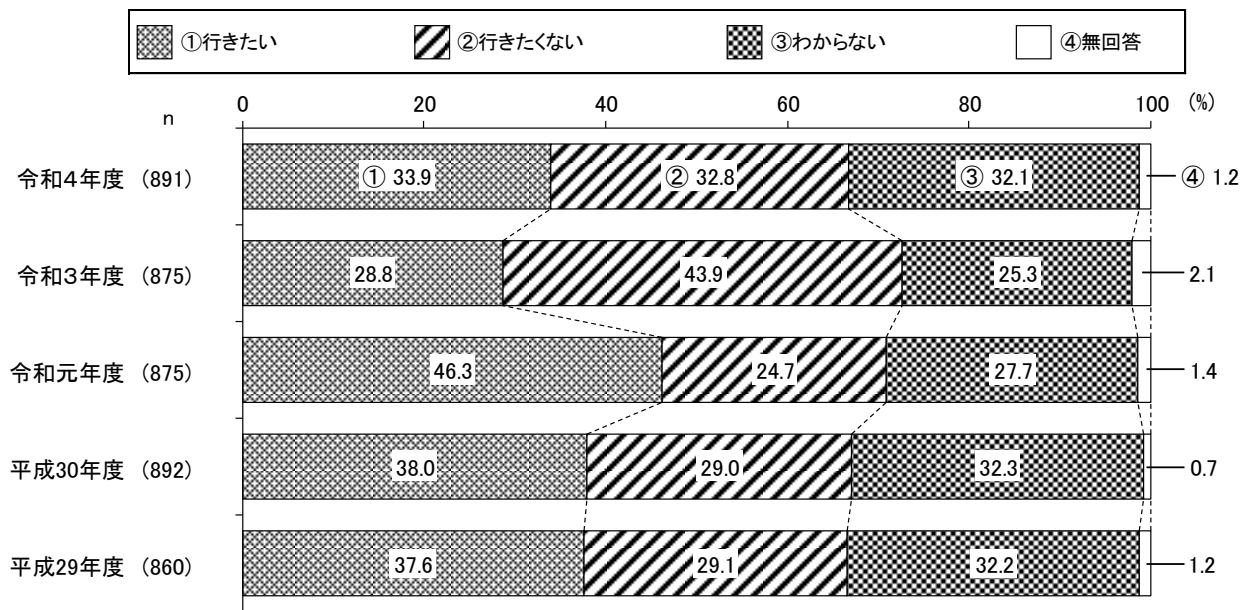
今後の、歌舞伎町への来街意向について、「行きたい」(33.9%)が3割台半ば近く、「行きたくない」(32.8%)が3割強となっている。(図1-2-1)

図1-2-2 今後の、歌舞伎町への来街意向  
（年代別）



年代別で見ると、「行きたくない」は30代（42.3%）が4割強と、全体（32.8%）を9.5ポイント上回っている。（図1-2-2）

図1-2-3 今後の、歌舞伎町への来街意向  
(経年推移)



経年推移をみると、「行きたくない」では、令和3年度（43.9%）から令和4年度（32.8%）にかけて11.1ポイント低くなっている。（図1-2-3）

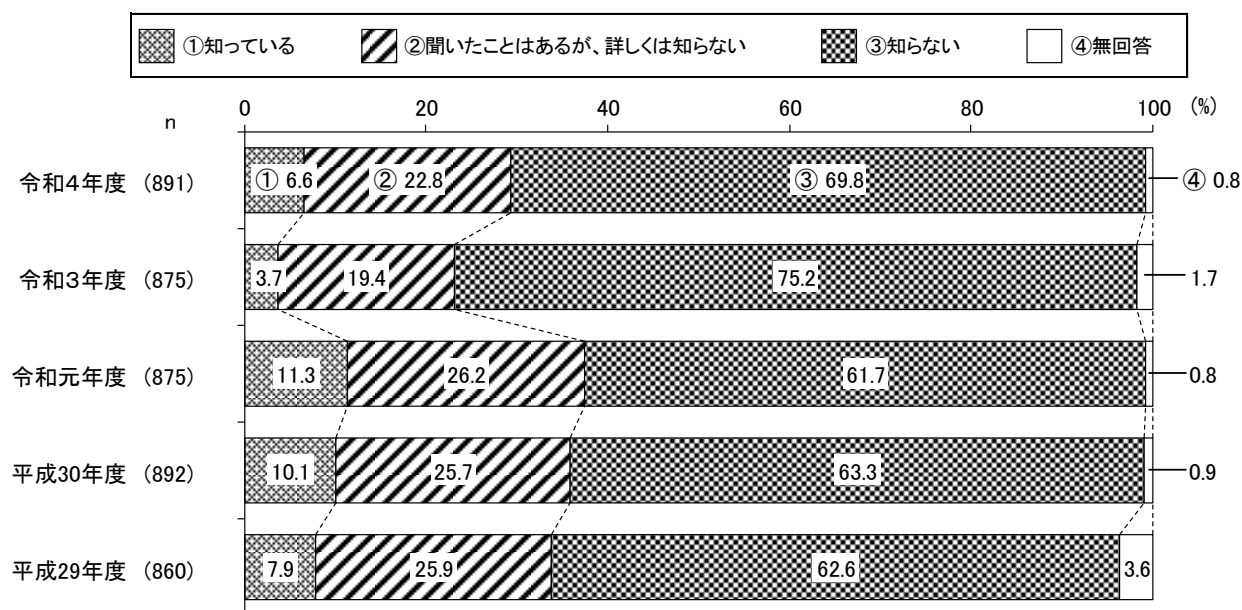
Ⅱ 調査の結果（テーマ1 歌舞伎町ルネッサンスの推進について）

（3）歌舞伎町ルネッサンスの認知状況

◎「知っている」が1割未満

問3 あなたは、「歌舞伎町ルネッサンス」の取組を知っていますか。（○は1つ）		(n=891)
1	知っている	6.6%
2	聞いたことはあるが、詳しくは知らない	22.8
3	知らない	69.8
	無回答	0.8

図1-3 歌舞伎町ルネッサンスの認知状況  
(経年推移)



歌舞伎町ルネッサンスの認知状況について、「知っている」(6.6%)が1割未満、「聞いたことはあるが、詳しくは知らない」(22.8%)が2割強、「知らない」(69.8%)が7割弱となっている。

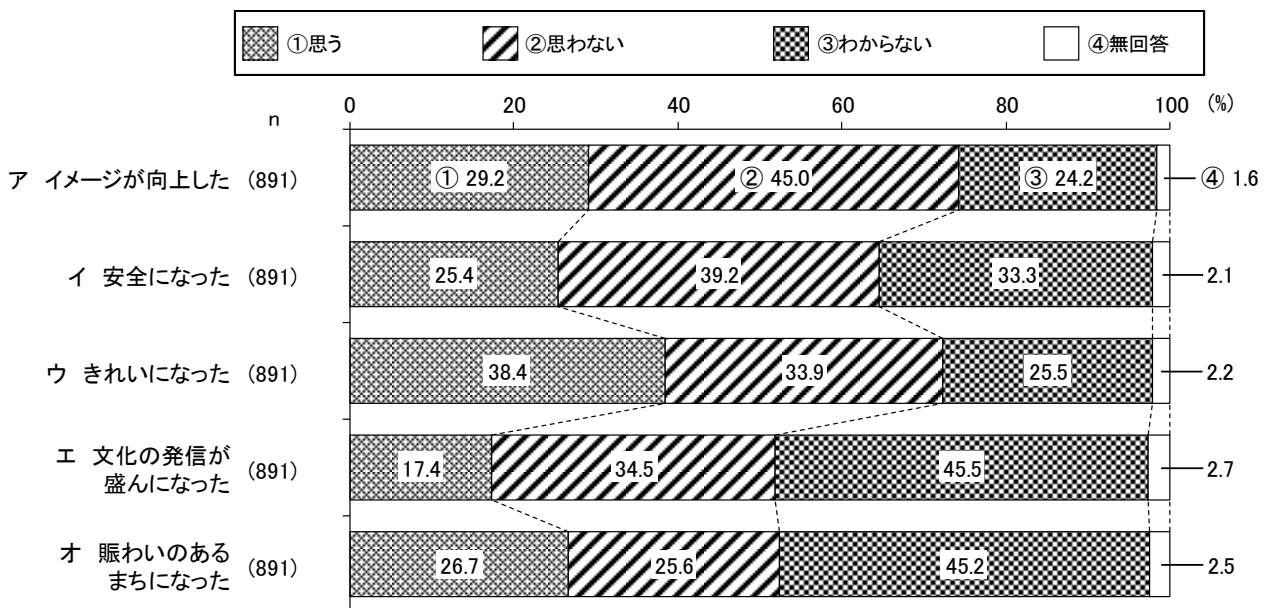
経年推移をみると、「知らない」では、令和3年度(75.2%)から令和4年度(69.8%)にかけて5.4ポイント低くなっている。(図1-3)

(4) 歌舞伎町の印象の変化

◎『きれいになった』と思うか「思う」が4割近く

問4 あなたの歌舞伎町の印象は、以前と比べて変わったと思いますか。 (ア～オそれぞれで、1～3に1つだけ○をつけてください)				
(n=891)				
	思う	思わない	わからない	無回答
ア イメージが向上した	29.2%	45.0%	24.2%	1.6%
イ 安全になった	25.4	39.2	33.3	2.1
ウ きれいになった	38.4	33.9	25.5	2.2
エ 文化の発信が盛んになった	17.4	34.5	45.5	2.7
オ 賑わいのあるまちになった	26.7	25.6	45.2	2.5

図1-4-1 歌舞伎町の印象の変化

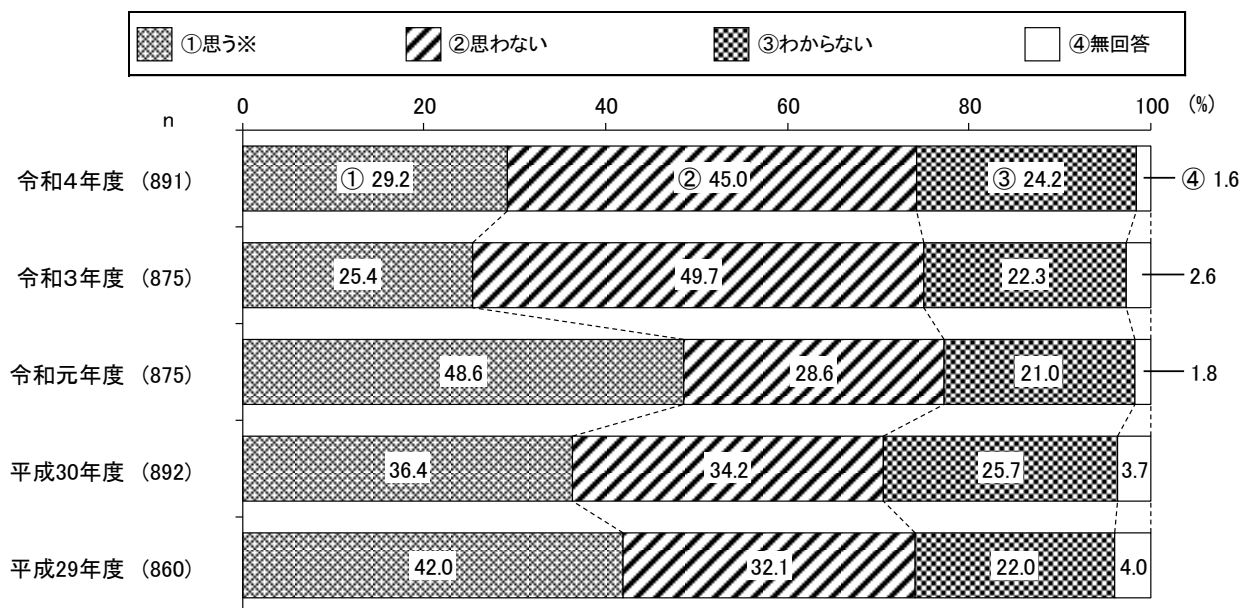


歌舞伎町の印象の変化について、「思う」は『きれいになった』(38.4%)が4割近くで最も高く、次いで『イメージが向上した』(29.2%)が3割弱、『賑わいのあるまちになった』(26.7%)が2割台半ばを超えている。(図1-4-1)

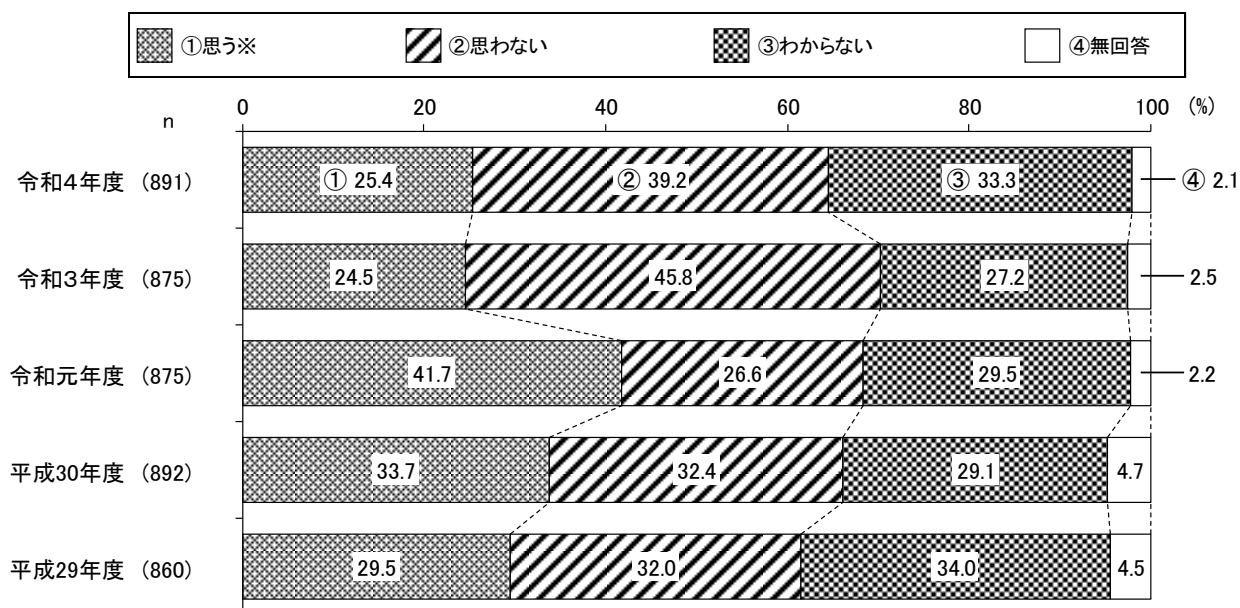
図1-4-2 歌舞伎町の印象の変化  
（経年推移）

『ア イメージが向上した』

※平成29年度まで「そう思う」



『イ 安全になった』



それぞれの項目ごとに経年推移をみると、4項目において「思う」の割合が令和3年度より高くなっている。

『イメージが向上した』において、「思わない」は、令和3年度（49.7%）から令和4年度（45.0%）にかけて4.7ポイント低くなっている。

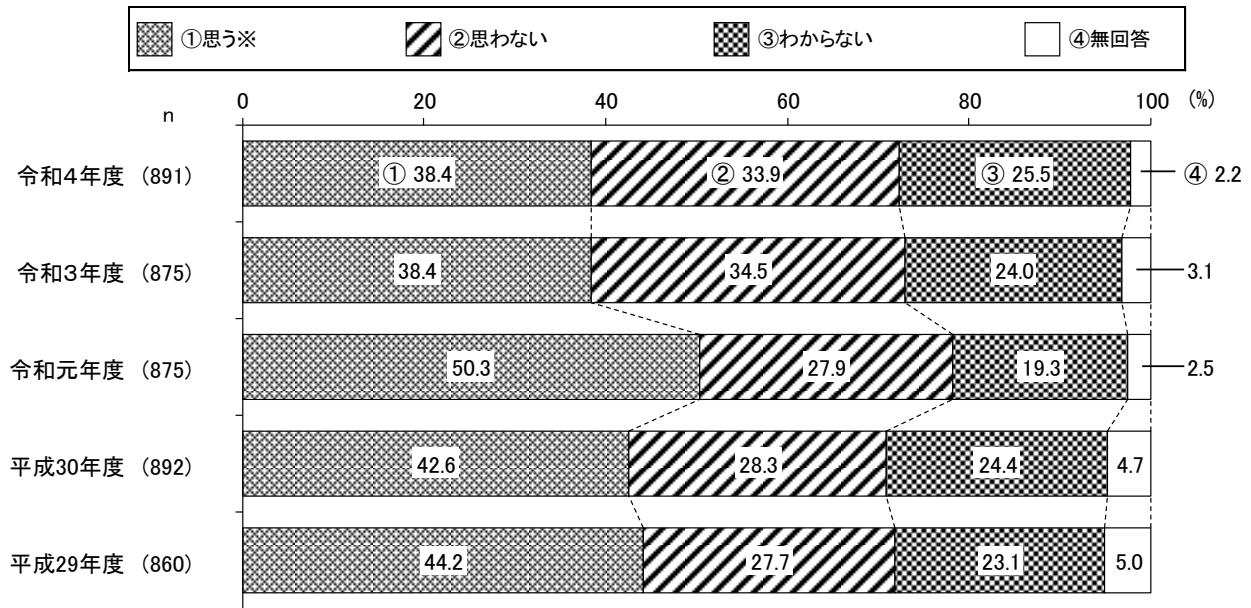
『安全になった』において、「思わない」は、令和3年度（45.8%）から令和4年度（39.2%）にかけて6.6ポイント低くなっている。（図1-4-2）



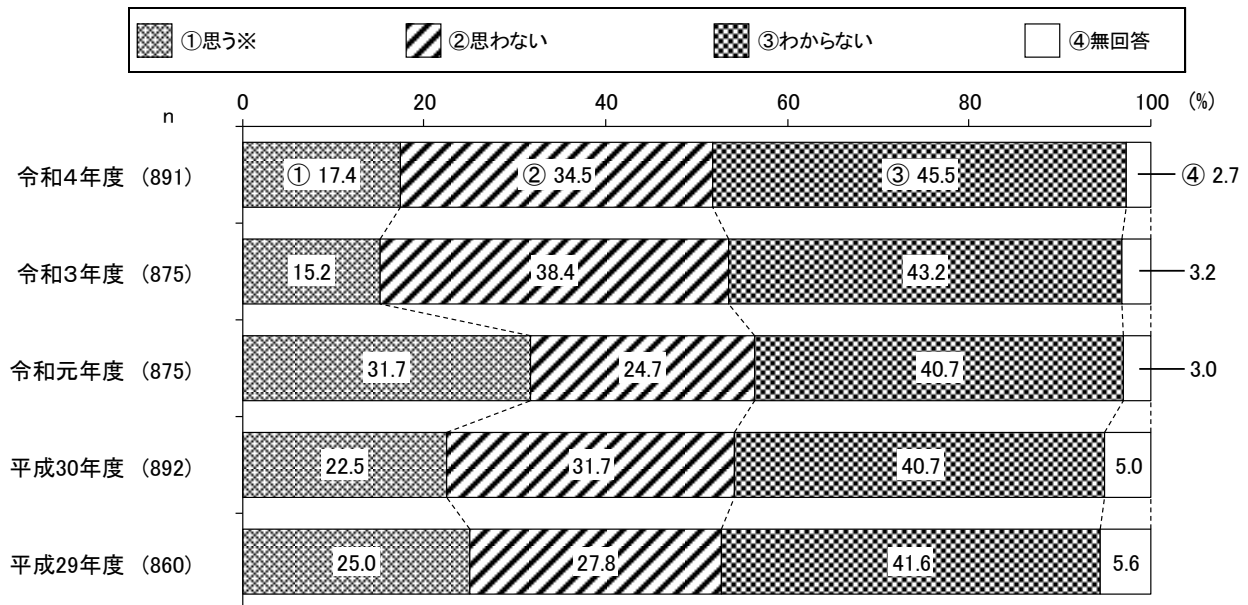
図1-4-3 歌舞伎町の印象の変化  
(経年推移)

『ウ きれいになった』

※平成29年度まで「そう思う」



『エ 文化の発信が盛んになった』



『きれいになった』において、「わからない」は、令和3年度(24.0%)から令和4年度(25.5%)にかけて1.5ポイント高くなっている。

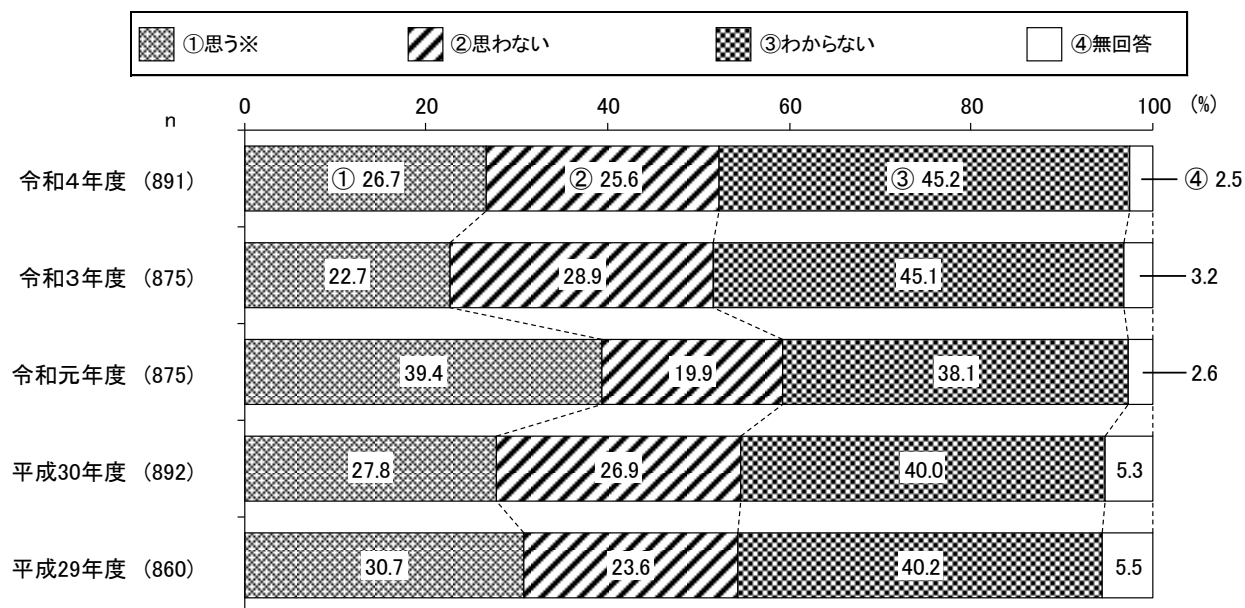
『文化の発信が盛んになった』において、「思わない」は、令和3年度(38.4%)から令和4年度(34.5%)にかけて3.9ポイント低くなっている。(図1-4-3)

Ⅱ 調査の結果（テーマ1 歌舞伎町ルネッサンスの推進について）

図1-4-4 歌舞伎町の印象の変化  
（経年推移）

『オ 賑わいのあるまちになった』

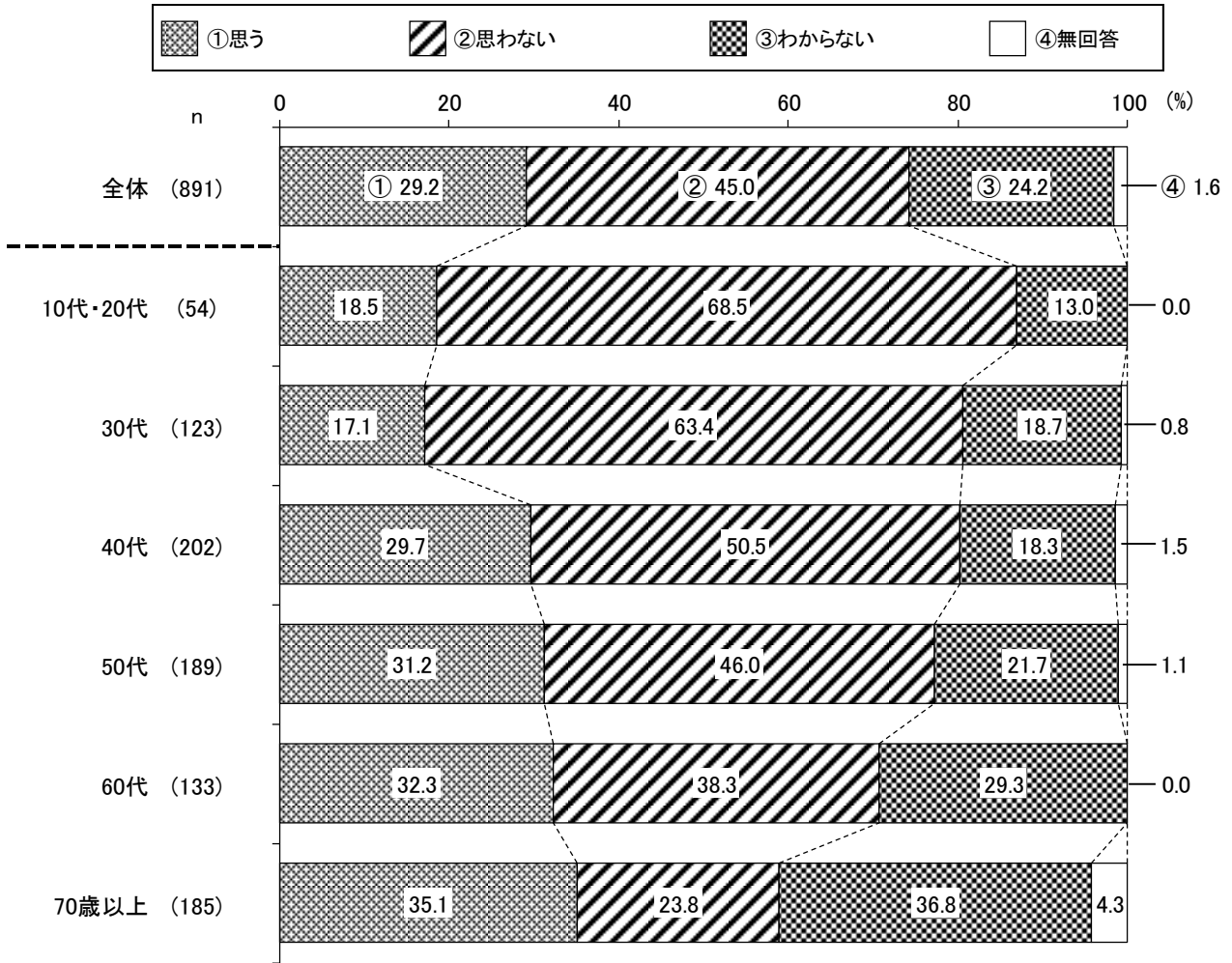
※平成29年度まで「そう思う」



『賑わいのあるまちになった』において、「思う」は、令和3年度（22.7%）から令和4年度（26.7%）にかけて4.0ポイント高くなっている。（図1-4-4）

図1-4-5 歌舞伎町の印象の変化  
(年代別)

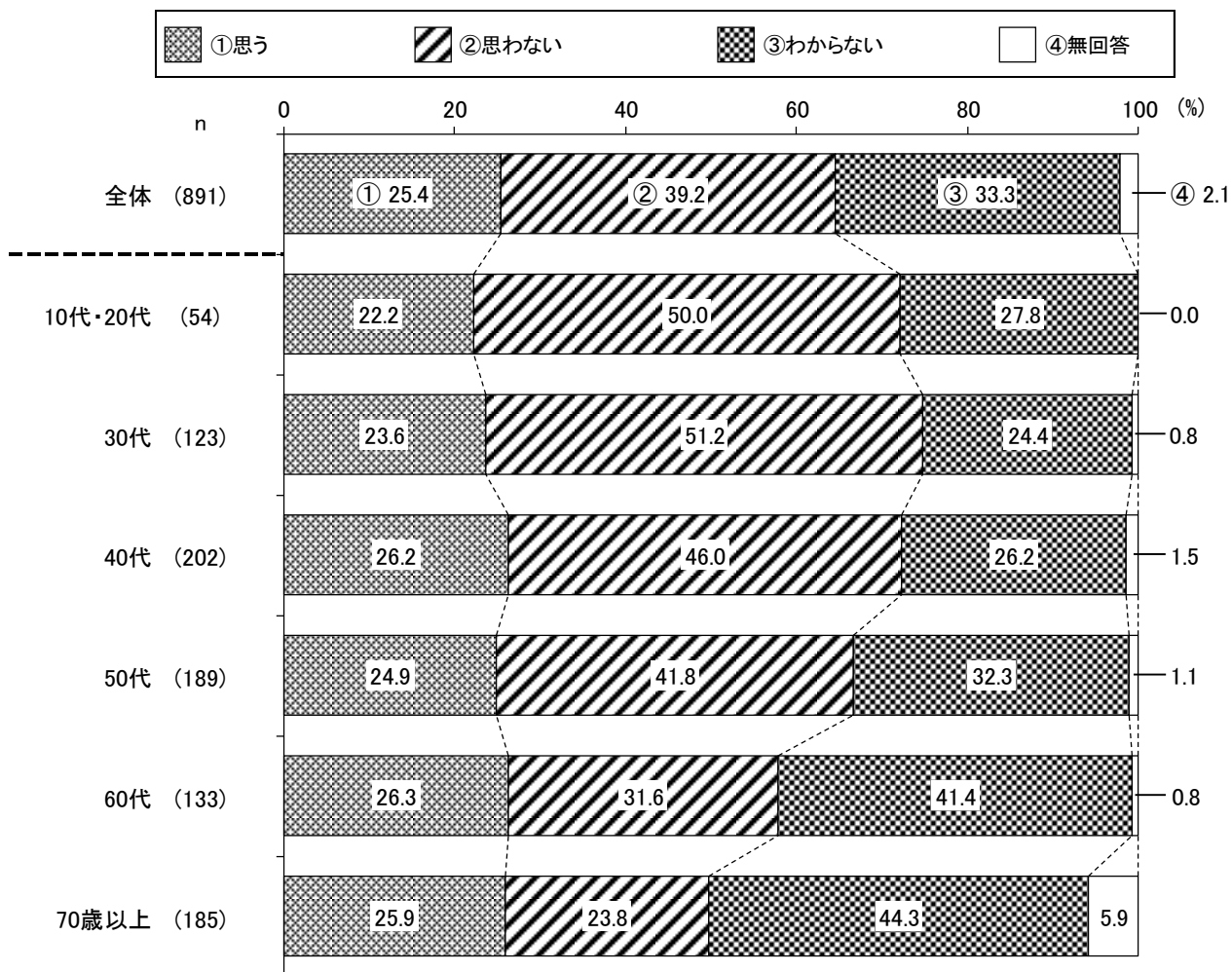
『ア イメージが向上した』



年代別で見ると、「思わない」は10代・20代（68.5%）が7割近くと、全体（45.0%）を23.5ポイント上回っている。（図1-4-5）

図1-4-6 歌舞伎町の印象の変化  
(年代別)

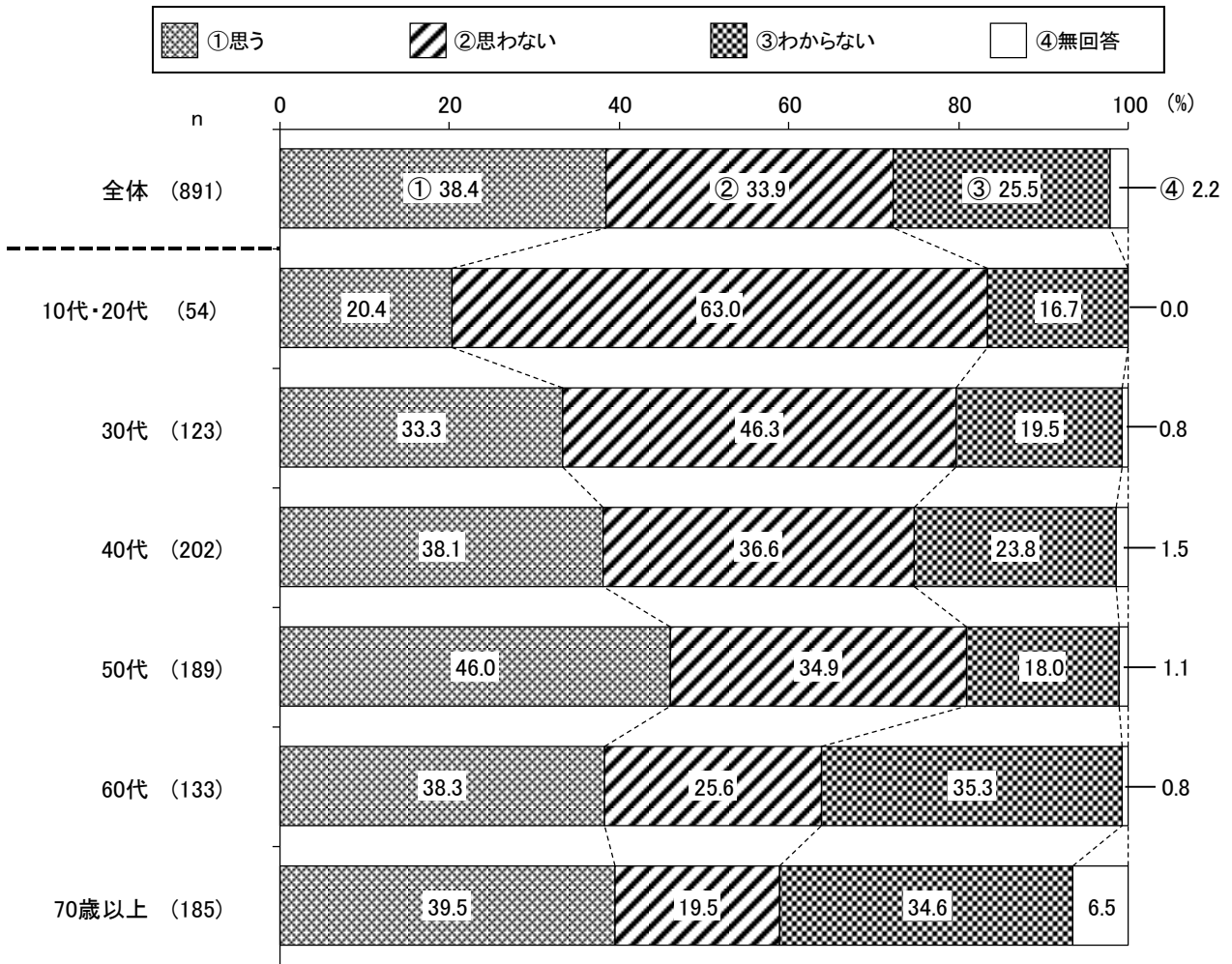
『イ 安全になった』



年代別で見ると、「思わない」は30代(51.2%)が5割強と、全体(39.2%)を12.0ポイント上回っている。(図1-4-6)

図1-4-7 歌舞伎町の印象の変化  
(年代別)

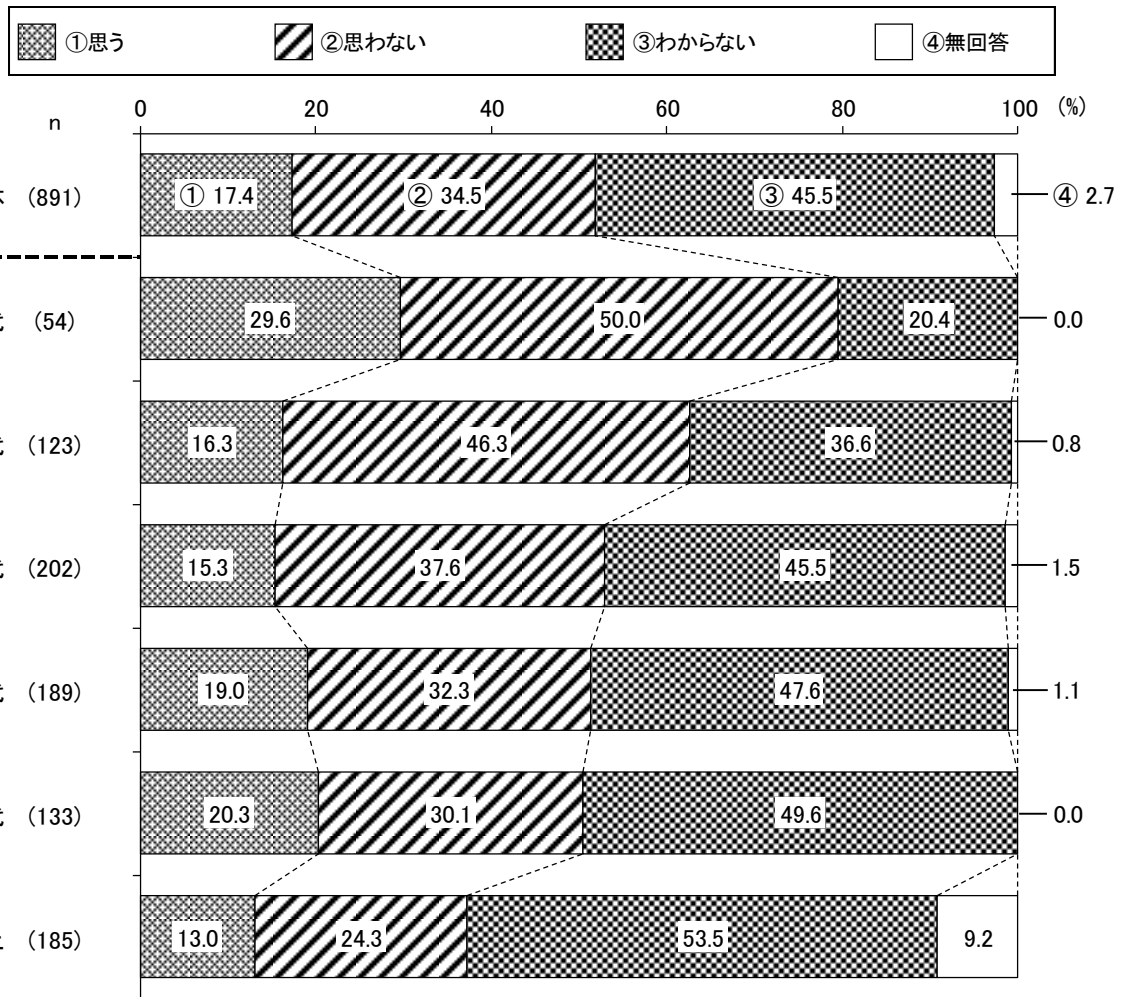
『ウ れいになつた』



年代別で見ると、「思わない」は10代・20代（63.0%）が6割台半ば近くと、全体（33.9%）を29.1ポイント上回っている。（図1-4-7）

図1-4-8 歌舞伎町の印象の変化  
(年代別)

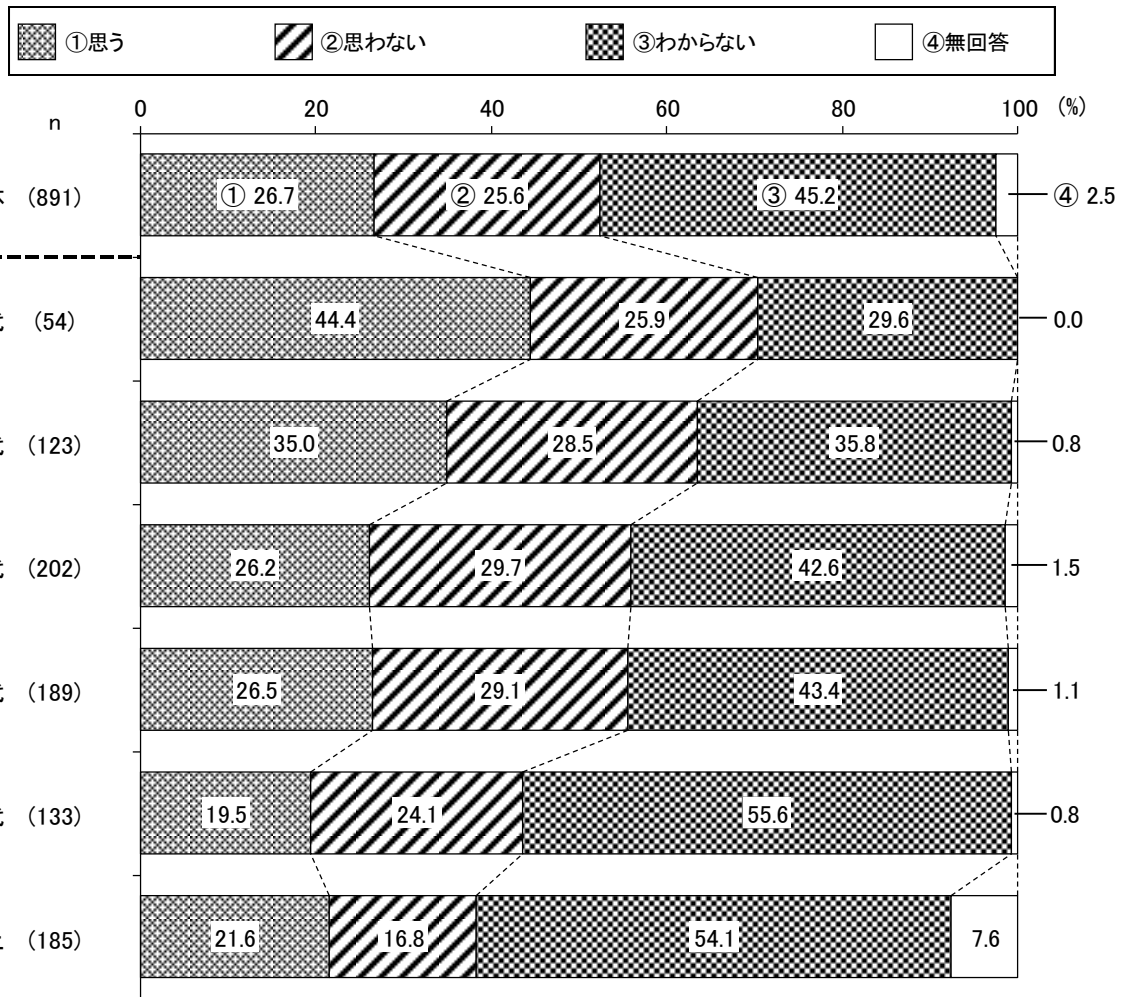
『エ 文化の発信が盛んになった』



年代別で見ると、「思わない」は10代・20代（50.0%）が5割と、全体（34.5%）を15.5ポイント上回っている。（図1-4-8）

図1-4-9 歌舞伎町の印象の変化  
(年代別)

『オ 賑わいのあるまちになった』



年代別で見ると、「思う」は10代・20代（44.4%）が4割台半ば近くと、全体（26.7%）を17.7ポイント上回っている。（図1-4-9）

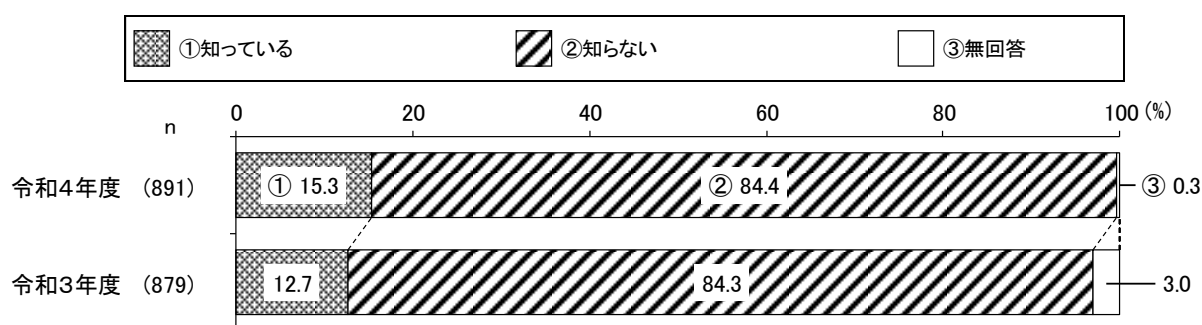
## テーマ2 生涯を通じた女性の健康づくりについて

### （1）「女性の健康支援センター」の認知状況

◎「知っている」が1割台半ば

問5 あなたは、四谷保健センター内にある「女性の健康支援センター」を知っていますか。 (〇は1つ)		(n=891)
1	知っている	15.3%
2	知らない	84.4
	無回答	0.3

図2-1-1 「女性の健康支援センター」の認知状況  
(経年推移)

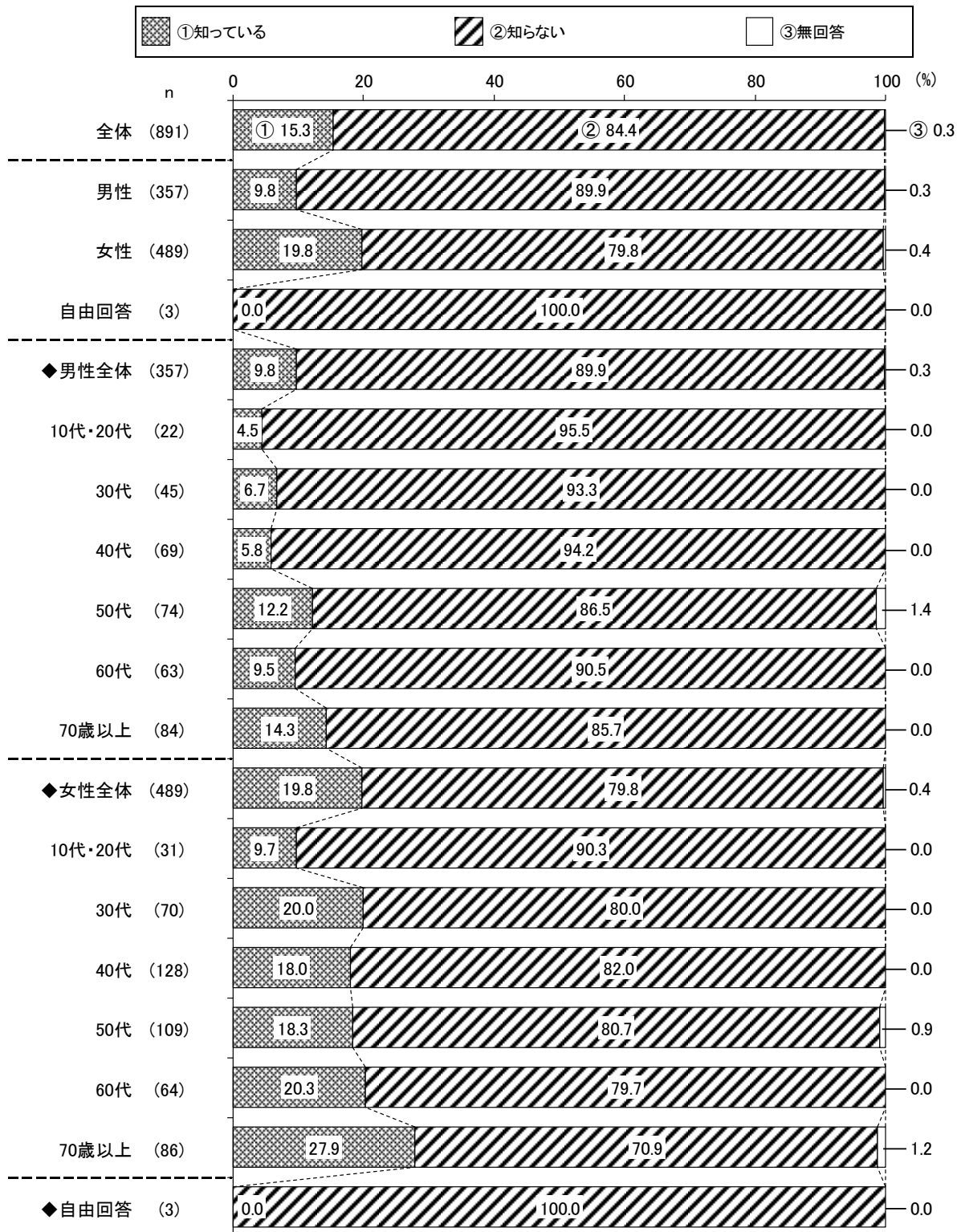


「女性の健康支援センター」の認知状況は、「知っている」(15.3%)が1割台半ば、「知らない」(84.4%)が8割台半ば近くとなっている。

前回の調査結果(令和3年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、「知っている」(15.3%)が前回(12.7%)から2.6ポイント高くなっている。(図2-1-1)



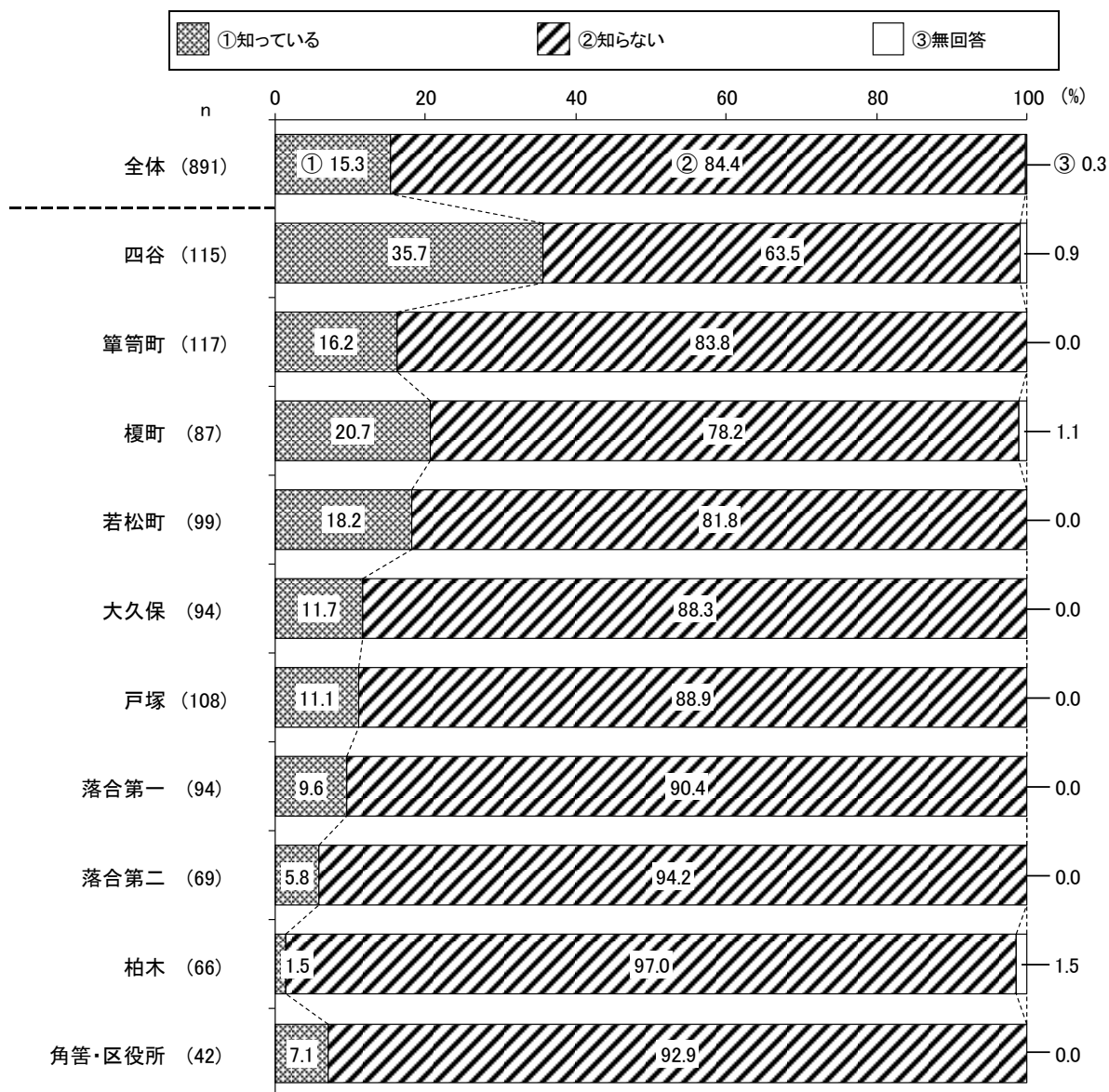
図2-1-2 「女性の健康支援センター」の認知状況  
(性別・性/年代別)



性別で見ると、「知らない」は男性（89.9%）が9割弱と、女性（79.8%）を10.1ポイント上回っている。

性/年代別で見ると、「知っている」は女性の70歳以上（27.9%）が2割台半ばを超え、全体（15.3%）を12.6ポイント上回っている。（図2-1-2）

図2-1-3 「女性の健康支援センター」の認知状況  
（居住地域別）



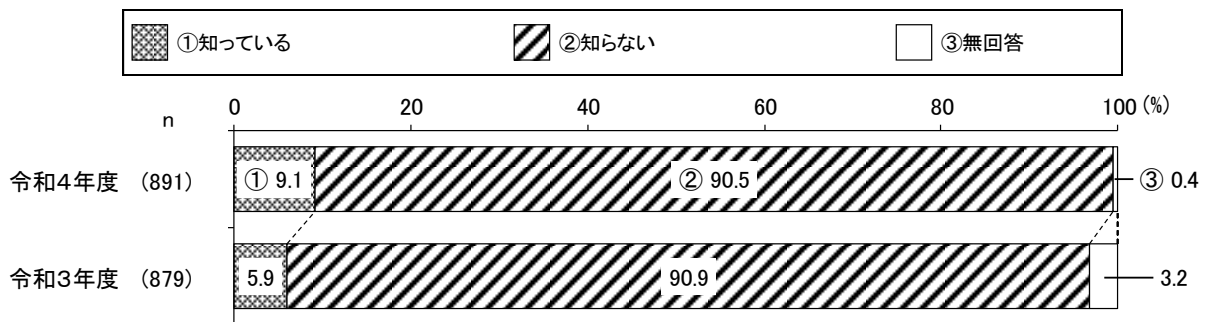
居住地域別でみると、「知っている」は四谷（35.7%）が3割台半ばと、全体（15.3%）を20.4ポイント上回っている。（図2-1-3）

(2) 女性の健康専門相談の認知状況

◎ 「知らない」が約9割

問6 「女性の健康支援センター」で行っている女性の健康専門相談について知っていますか。 (〇は1つ)		(n=891)
1	知っている	9.1%
2	知らない	90.5
	無回答	0.4

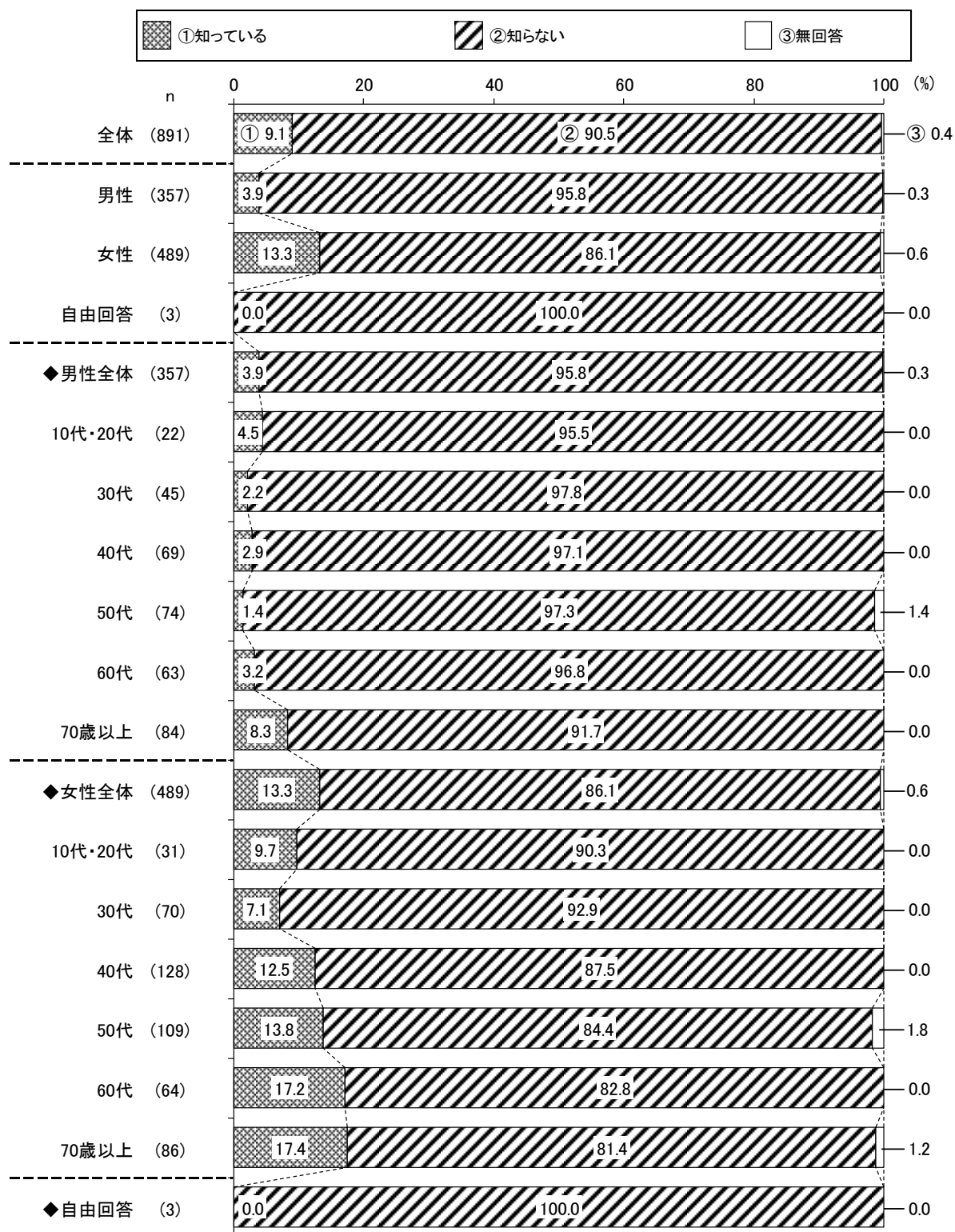
図2-2-1 女性の健康専門相談の認知状況  
(経年推移)



女性の健康専門相談の認知状況は、「知っている」(9.1%)が1割弱、「知らない」(90.5%)が約9割となっている。

前回の調査結果(令和3年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、「知っている」(9.1%)が前回(5.9%)から3.2ポイント高くなっている。(図2-2-1)

図2-2-2 女性の健康専門相談の認知状況  
（性別・性／年代別）



性別で見ると、「知らない」は男性（95.8%）が9割台半ばと、女性（86.1%）を9.7ポイント上回っている。

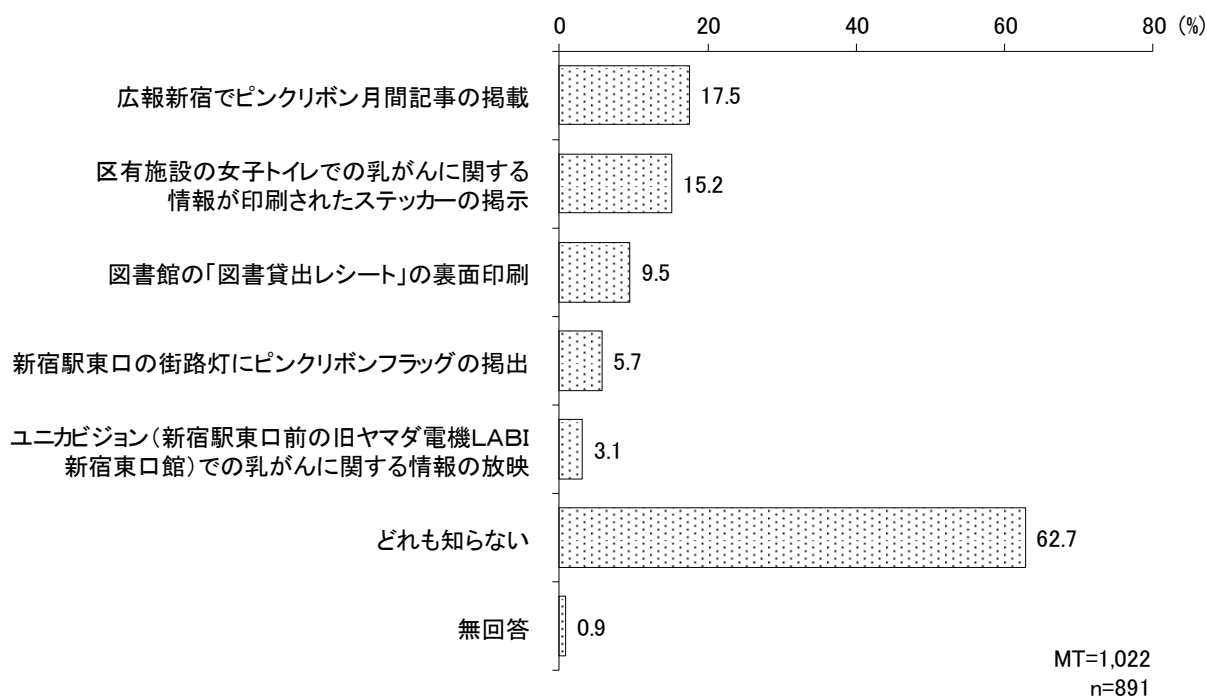
性／年代別で見ると、「知っている」は女性の70歳以上（17.4%）が1割台半ばを超え、全体（9.1%）を8.3ポイント上回っている。（図2-2-2）

### (3) ピンクリボン月間に実施している取組の認知

◎「広報新宿でピンクリボン月間記事の掲載」が1割台半ばを超え

問7 区では、毎年10月のピンクリボン月間にあわせ、乳がん検診の受診勧奨や乳がんの正しい知識の普及啓発など下記の取組を行っています。あなたが知っているものは何ですか。 (あてはまるものにいくつでも○をつけてください)		(n=891)
1	図書館の「図書貸出レシート」の裏面印刷	9.5%
2	区有施設的女子トイレでの乳がんに関する情報が印刷されたステッカーの掲示	15.2
3	新宿駅東口の街路灯にピンクリボンフラッグの掲出	5.7
4	ユニカビジョン(新宿駅東口前の旧ヤマダ電機LABI新宿東口館)での乳がんに関する情報の放映	3.1
5	広報新宿でピンクリボン月間記事の掲載	17.5
6	どれも知らない	62.7
	無回答	0.9

図2-3 ピンクリボン月間に実施している取組の認知



ピンクリボン月間に実施している取組の認知は、「広報新宿でピンクリボン月間記事の掲載」(17.5%)が1割台半ばを超えている。一方、「どれも知らない」(62.7%)が6割強となっている。(図2-3)

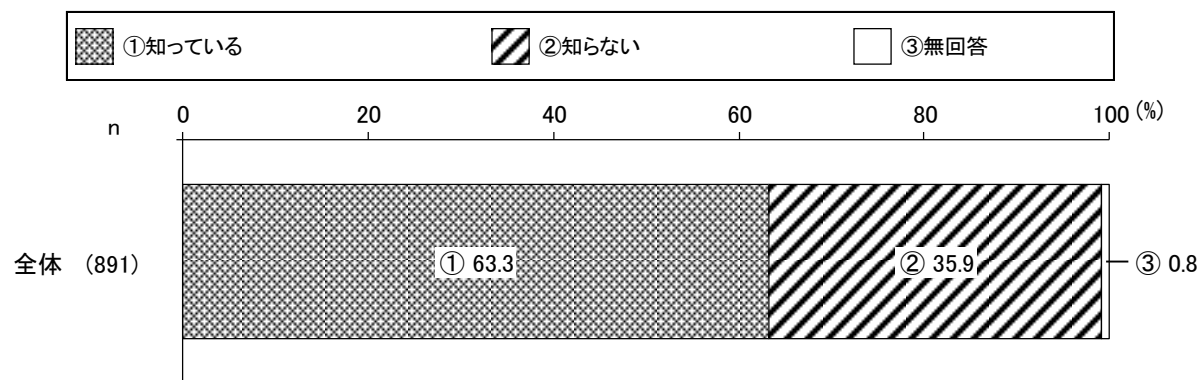
### テーマ3 受動喫煙防止対策について

#### （1）多数の人が利用する施設の原則屋内禁煙の認知

◎「知っている」が6割台半ば近く

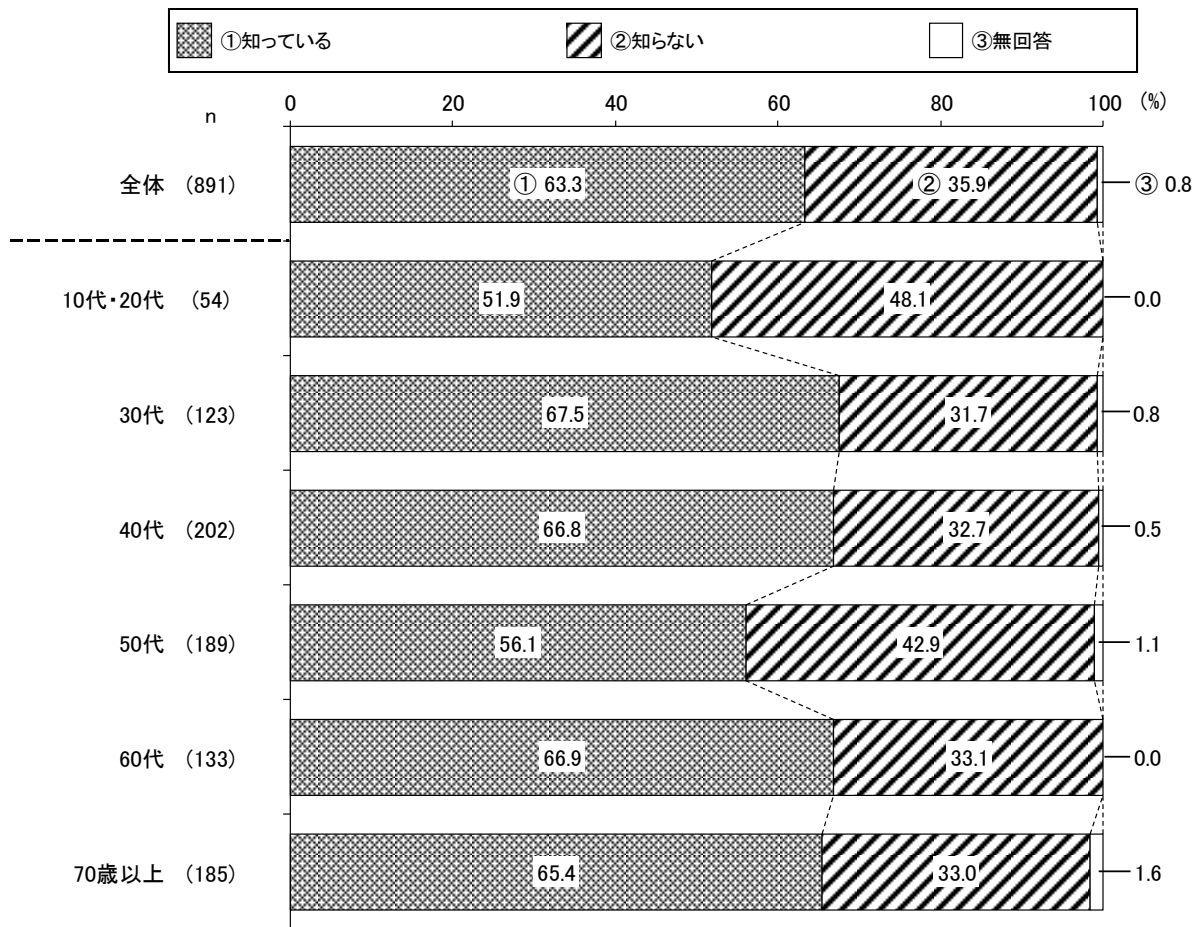
問8	多数の人（2人以上）が利用する施設は、原則屋内禁煙（基準を満たした喫煙室でのみ喫煙可）になったことを、あなたは知っていましたか。（○は1つ）	(n=891)
1	知っている	63.3%
2	知らない	35.9
	無回答	0.8

図3-1-1 多数の人が利用する施設の原則屋内禁煙の認知



多数の人が利用する施設の原則屋内禁煙の認知は、「知っている」（63.3%）が6割台半ば近く、「知らない」（35.9%）が3割台半ばとなっている。（図3-1-1）

図3-1-2 多数の人が利用する施設の原則屋内禁煙の認知  
(年代別)



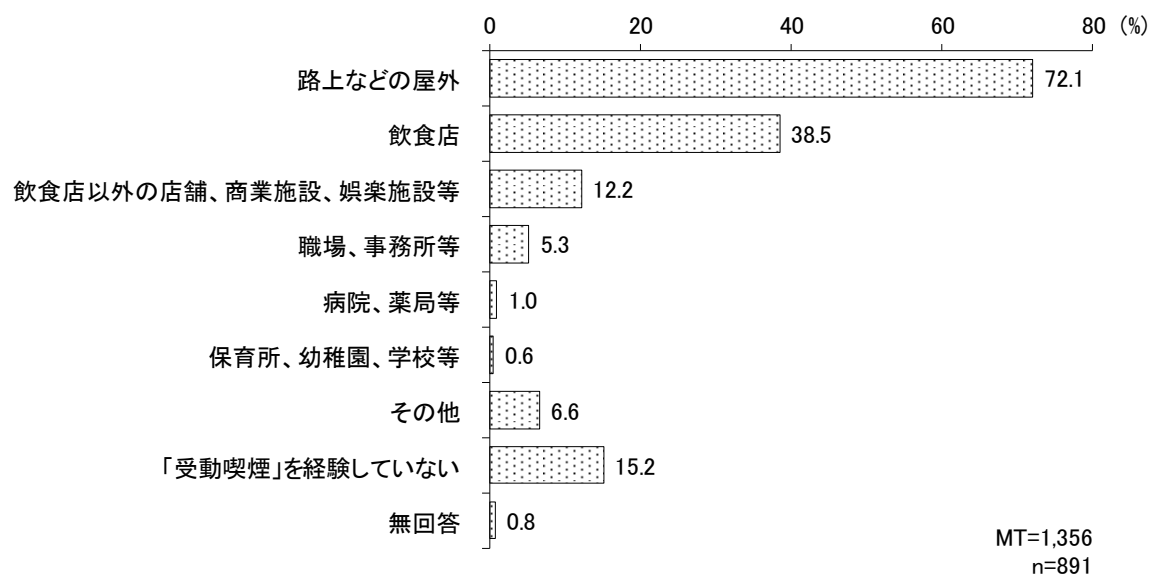
年代別でみると、「知らない」は10代・20代（48.1%）が5割近くと、全体（35.9%）を12.2ポイント上回っている。（図3-1-2）

（2）受動喫煙経験の有無

◎「路上などの屋外」が7割強

問9 あなたはおおよそ1年の間に、次の場所で「受動喫煙」を経験したことはありますか。 （あてはまるものにもいくつかでも○をつけてください）		(n=891)
1	飲食店	38.5%
2	飲食店以外の店舗、商業施設、娯楽施設等	12.2
3	職場、事務所等	5.3
4	病院、薬局等	1.0
5	保育所、幼稚園、学校等	0.6
6	路上などの屋外	72.1
7	その他	6.6
8	「受動喫煙」を経験していない	15.2
	無回答	0.8

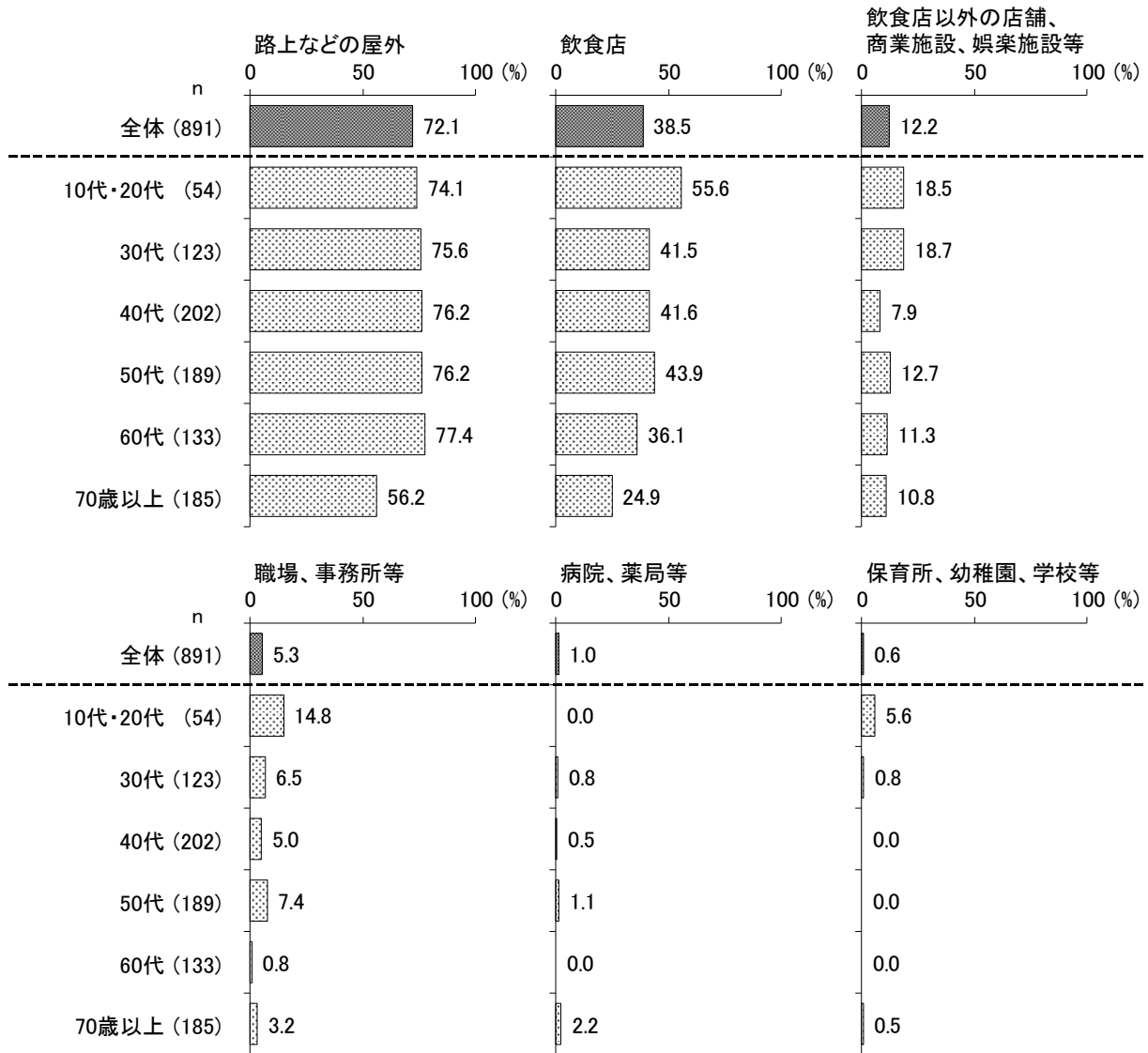
図3-2-1 受動喫煙経験の有無



受動喫煙経験の有無は、「路上などの屋外」（72.1%）が7割強で最も高く、次いで「飲食店」（38.5%）が4割近くと続いている。一方、「『受動喫煙』を経験していない」（15.2%）が1割台半ばとなっている。（図3-2-1）



図3-2-2 受動喫煙経験の有無  
(年代別) 上位6項目



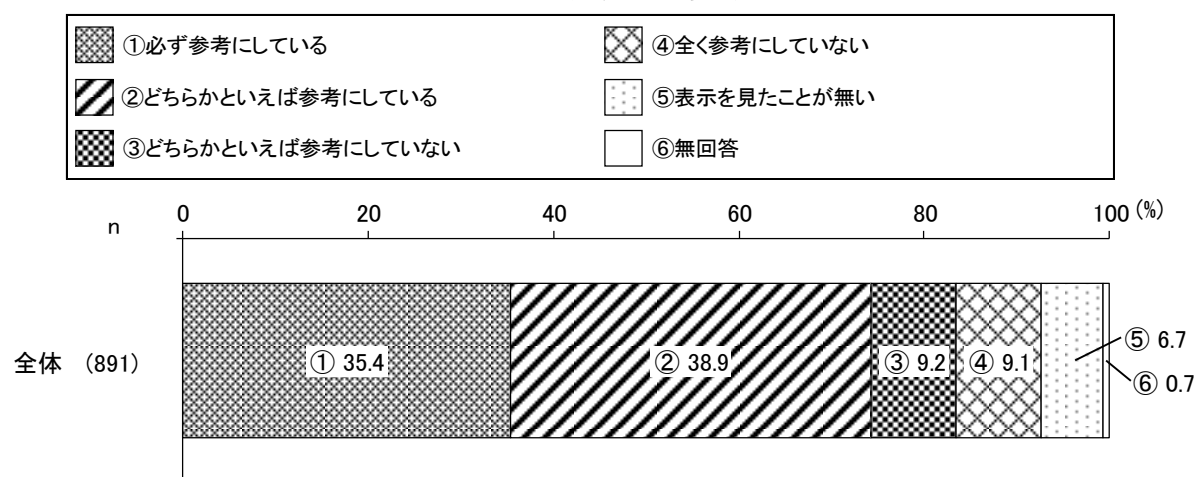
上位6項目について、年代別でみると、「飲食店」は10代・20代（55.6%）が5割台半ばと、全体（38.5%）を17.1ポイント上回っている。（図3-2-2）

（3）禁煙表示を参考にするか

◎「どちらかといえば参考にしている」が4割近く

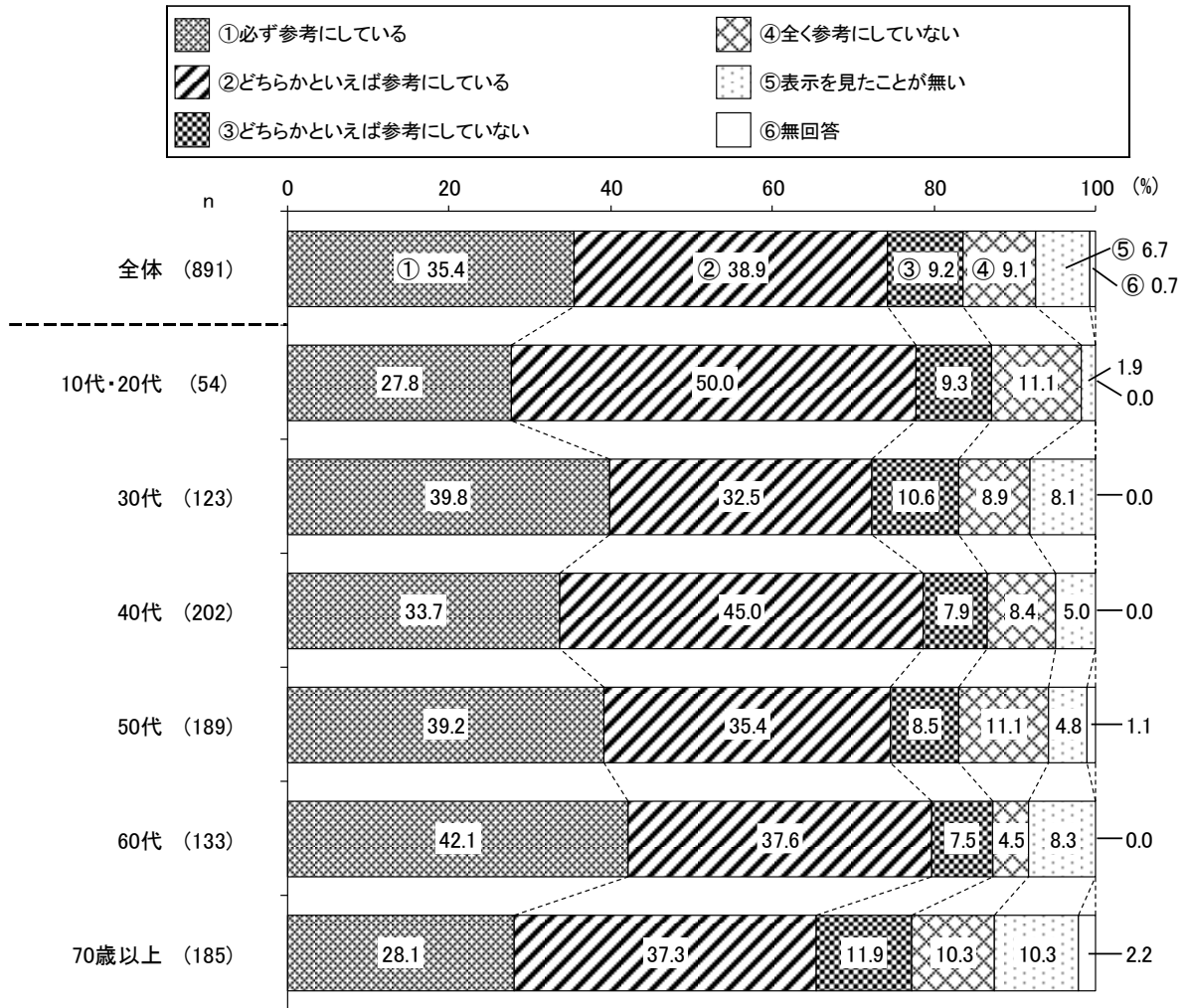
問10 あなたは、飲食店の店頭にある「喫煙室あり」または「禁煙」の表示を、店を選ぶ際の参考にしていますか。（〇は1つ）		(n=891)
1	必ず参考にしている	35.4%
2	どちらかといえば参考にしている	38.9
3	どちらかといえば参考にしていない	9.2
4	全く参考にしていない	9.1
5	表示を見たことが無い	6.7
	無回答	0.7

図3-3-1 禁煙表示を参考にするか



禁煙表示を参考にするかは、「どちらかといえば参考にしている」（38.9%）が4割近くで最も高く、次いで「必ず参考にしている」（35.4%）が3割台半ば、「どちらかといえば参考にしていない」（9.2%）及び「全く参考にしていない」（9.1%）が1割弱、「表示を見たことが無い」（6.7%）が1割未満となっている。（図3-3-1）

図3-3-2 禁煙表示を参考にするか  
(年代別)



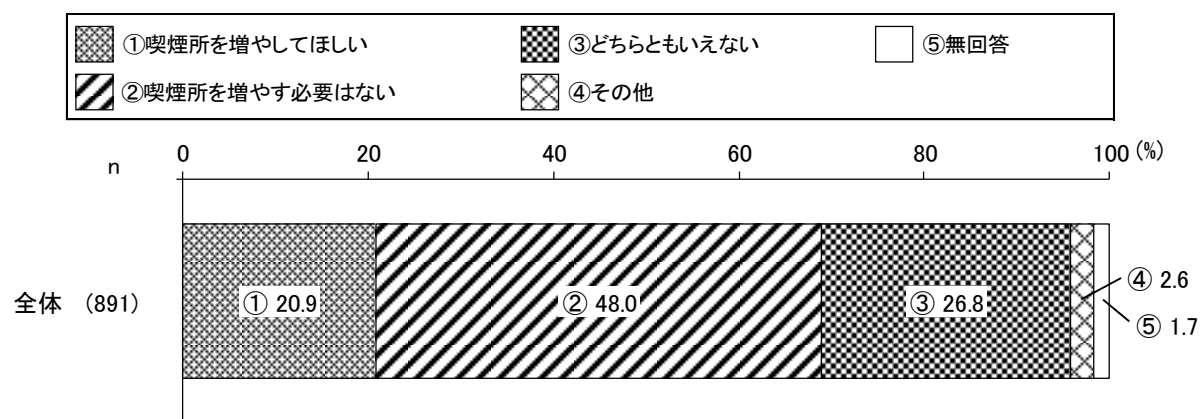
年代別でみると、「どちらかといえば参考になっている」は10代・20代(50.0%)が5割と、全体(38.9%)を11.1ポイント上回っている。(図3-3-2)

（４）分煙環境を現在よりも整備してほしいと思うか

◎「喫煙所を増やす必要はない」が5割近く

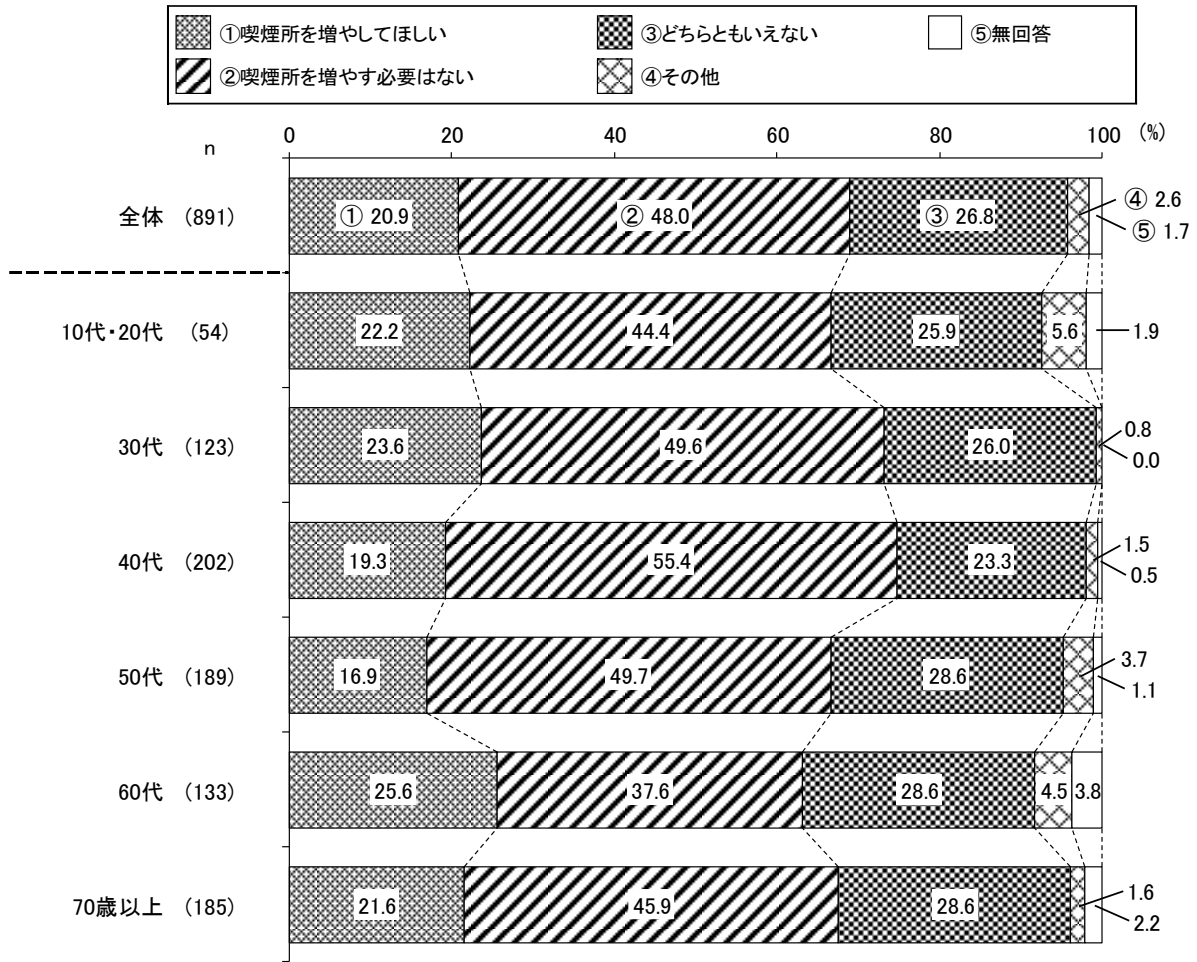
問11	区では、民間事業者等が設置する公衆喫煙所や喫煙専用室等の整備費用の一部を助成し、分煙環境の整備を進めています。区内での喫煙所を現在よりも増やしてほしいと思いますか。（〇は1つ）	(n=891)
1	喫煙所を増やしてほしい	20.9%
2	喫煙所を増やす必要はない	48.0
3	どちらともいえない	26.8
4	その他	2.6
	無回答	1.7

図3-4-1 分煙環境を現在よりも整備してほしいと思うか



分煙環境を現在よりも整備してほしいと思うかは、「喫煙所を増やす必要はない」（48.0%）が5割近く、「どちらともいえない」（26.8%）が2割台半ばを超え、「喫煙所を増やしてほしい」（20.9%）が約2割となっている。（図3-4-1）

図3-4-2 分煙環境を現在よりも整備してほしいと思うか  
(年代別)



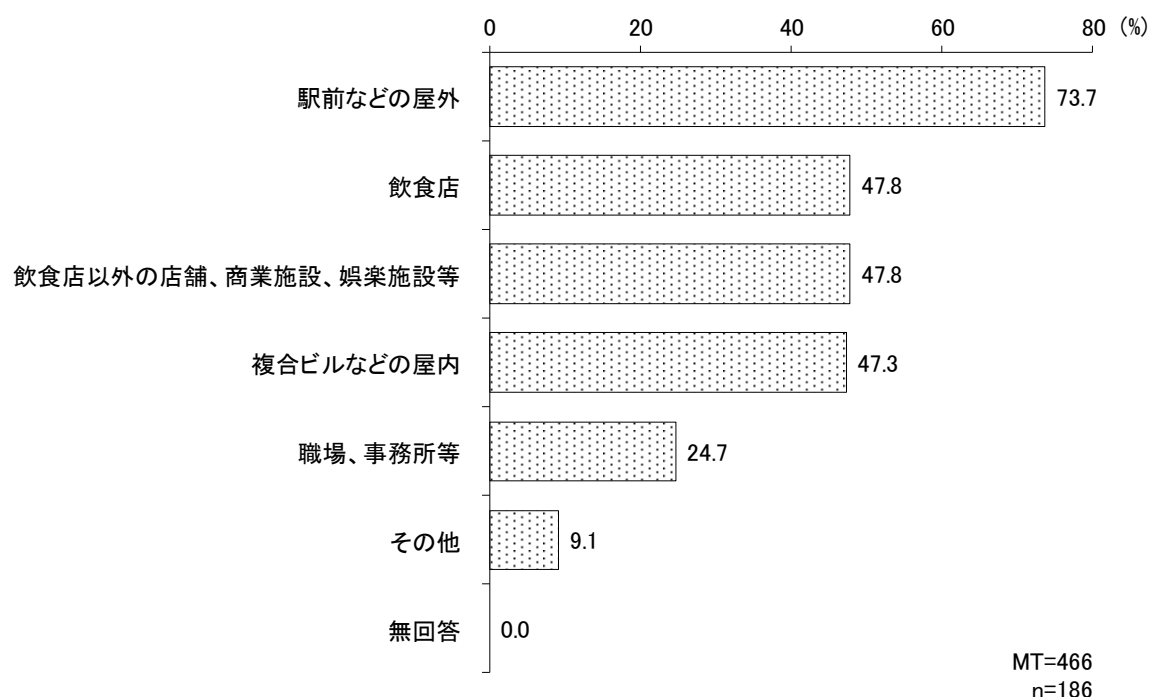
年代別でみると、「喫煙所を増やす必要はない」は40代(55.4%)が5割台半ばと、全体(48.0%)を7.4ポイント上回っている。(図3-4-2)

（5）分煙環境を整備してほしい場所

◎「駅前などの屋外」が7割台半ば近く

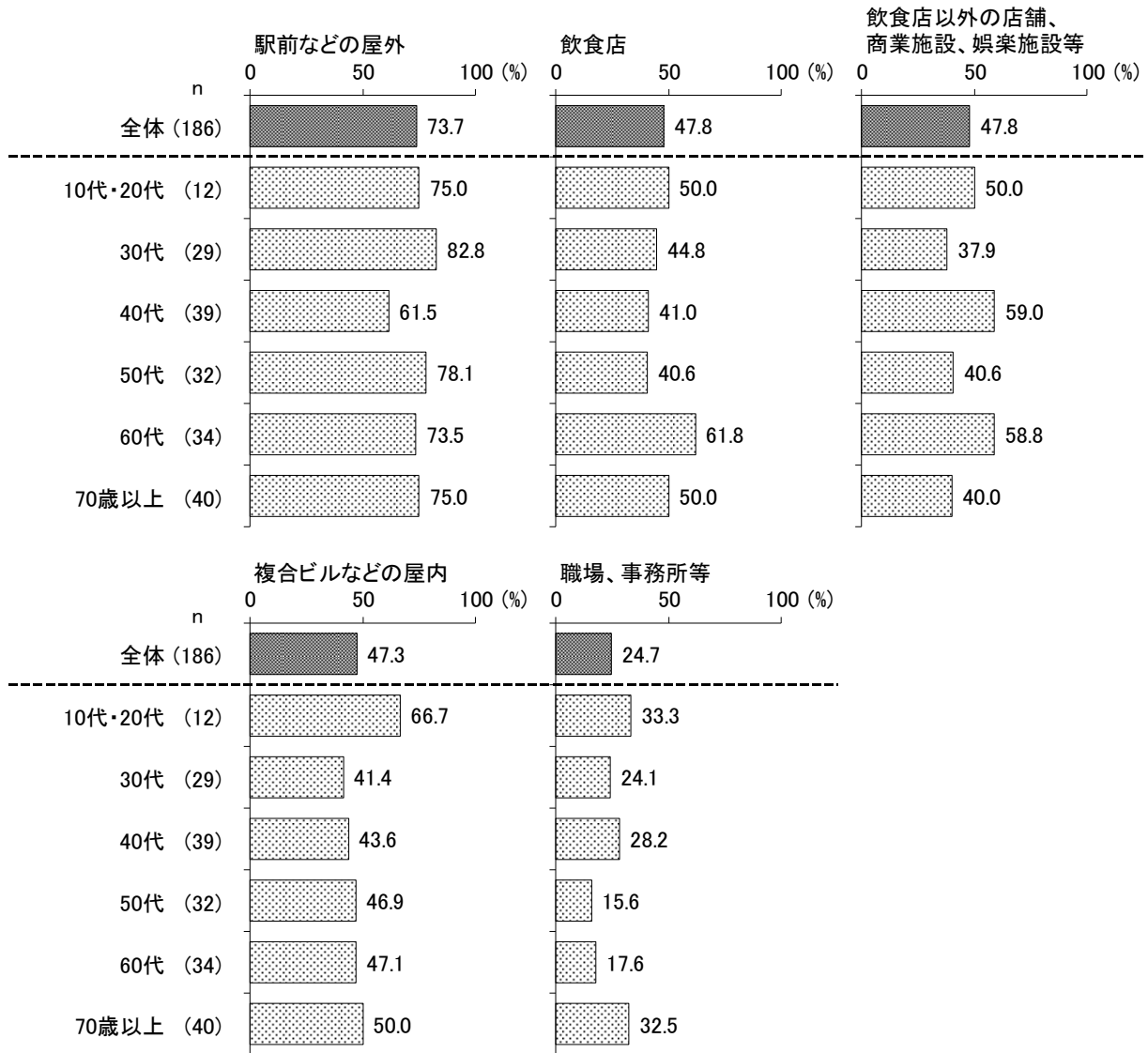
問11-1	問11で、「1 喫煙所を増やしてほしい」に○をした方にお伺いします。 どのような場所に喫煙所を増やしてほしいと思いますか。 (あてはまるものにいくつでも○をつけてください)	(n=186)
1	飲食店	47.8%
2	飲食店以外の店舗、商業施設、娯楽施設等	47.8
3	職場、事務所等	24.7
4	複合ビルなどの屋内	47.3
5	駅前などの屋外	73.7
6	その他	9.1
	無回答	0.0

図3-5-1 分煙環境を整備してほしい場所



分煙環境を整備してほしい場所は、「駅前などの屋外」(73.7%)が7割台半ば近くで最も高く、次いで「飲食店」(47.8%)、「飲食店以外の店舗、商業施設、娯楽施設等」(47.8%)及び「複合ビルなどの屋内」(47.3%)が4割台半ばを超えて続いている。(図3-5-1)

図3-5-2 分煙環境を整備してほしい場所  
(年代別) 上位5項目



上位5項目について、年代別で見ると、「複合ビルなどの屋内」は10代・20代（66.7%）が6割台半ばを超え、全体（47.3%）を19.4ポイント上回っている。（図3-5-2）

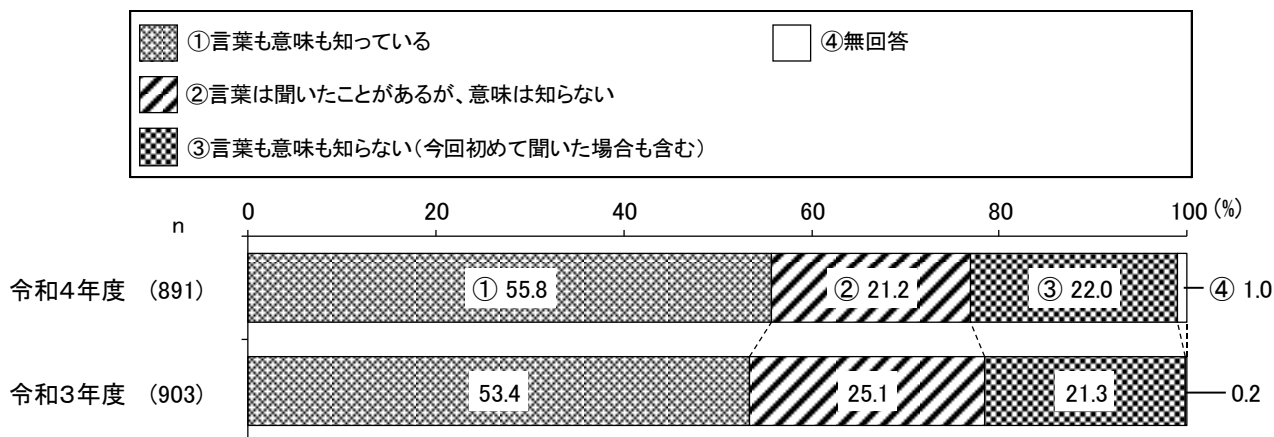
## テーマ4 ユニバーサルデザインについて

### （1）ユニバーサルデザインの認知状況

◎ユニバーサルデザインを「言葉も意味も知っている」が5割台半ば

問12 あなたは、「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていますか。（○は1つ）		(n=891)
1	言葉も意味も知っている	55.8%
2	言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない	21.2
3	言葉も意味も知らない（今回初めて聞いた場合も含む）	22.0
	無回答	1.0

図4-1-1 ユニバーサルデザインの認知状況  
（経年推移）

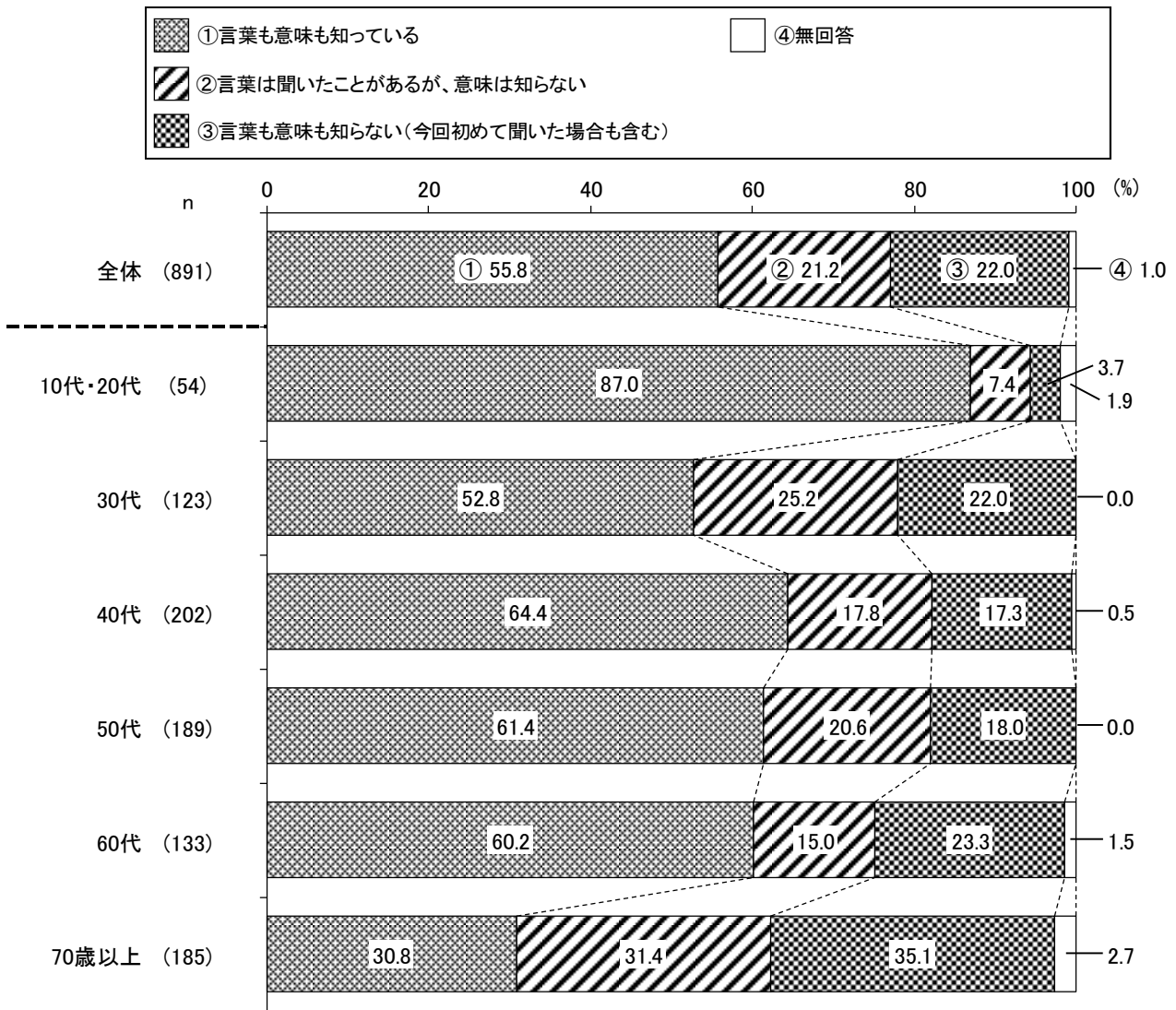


ユニバーサルデザインの認知状況は、「言葉も意味も知っている」(55.8%)が5割台半ば、「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」(21.2%)及び「言葉も意味も知らない(今回初めて聞いた場合も含む)」(22.0%)が2割強となっている。

前回の調査結果(令和3年度区政モニターアンケート調査)と比較すると、「言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない」(21.2%)が前回(25.1%)より3.9ポイント低くなっている。(図4-1-1)



図4-1-2 ユニバーサルデザインの認知状況  
(年代別)



年代別で見ると、「言葉も意味も知っている」は10代・20代(87.0%)が8割台半ばを超え、全体(55.8%)を31.2ポイント上回っている。(図4-1-2)

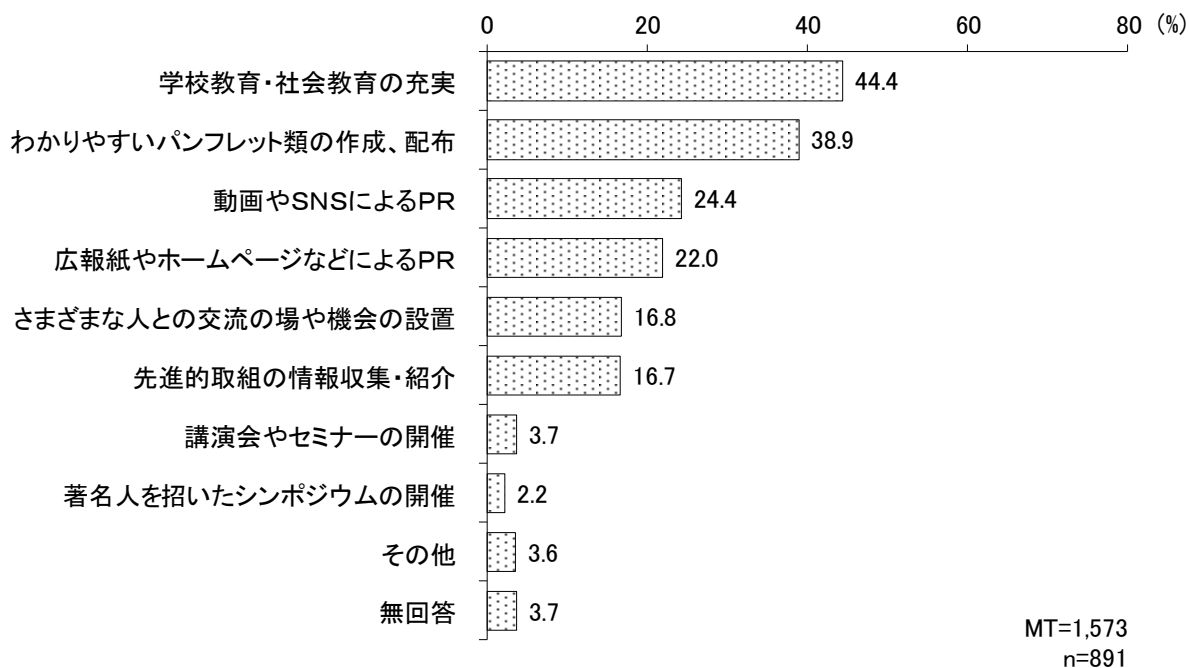
II 調査の結果（テーマ4 ユニバーサルデザインについて）

（2）ユニバーサルデザインについて、重要だと思うもの

◎「学校教育・社会教育の充実」が4割台半ば近く

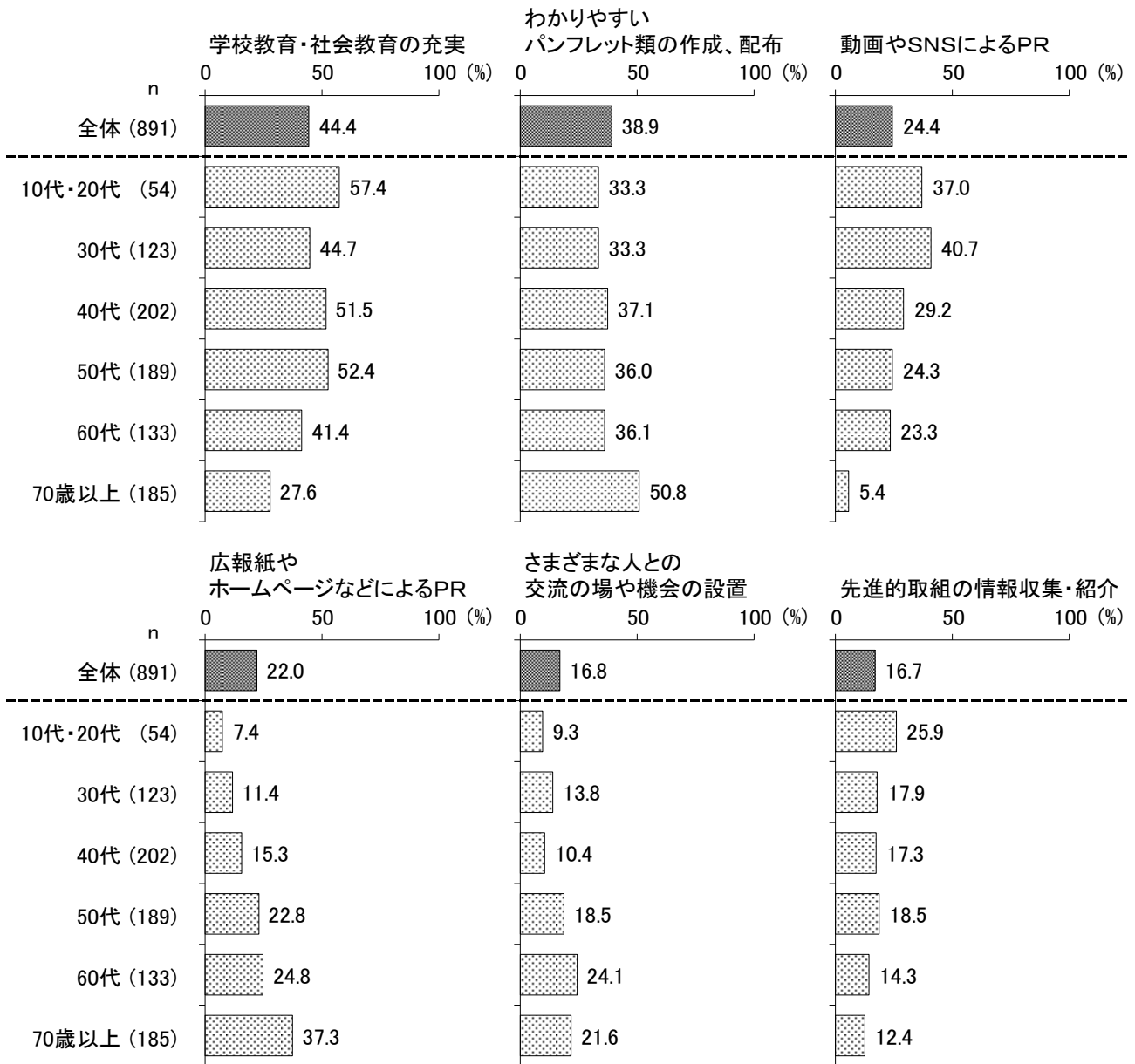
問13 ユニバーサルデザインについて、あなたが重要だと思うものは何ですか。 (あてはまるものに2つまで○をつけてください)		(n=891)
1	わかりやすいパンフレット類の作成、配布	38.9%
2	講演会やセミナーの開催	3.7
3	学校教育・社会教育の充実	44.4
4	先進的取組の情報収集・紹介	16.7
5	さまざまな人との交流の場や機会の設置	16.8
6	広報紙やホームページなどによるPR	22.0
7	動画やSNSによるPR	24.4
8	著名人を招いたシンポジウムの開催	2.2
9	その他	3.6
	無回答	3.7

図4-2-1 ユニバーサルデザインについて、重要だと思うもの



ユニバーサルデザインについて、重要だと思うものは、「学校教育・社会教育の充実」(44.4%)が4割台半ば近くで最も高く、次いで「わかりやすいパンフレット類の作成、配布」(38.9%)が4割近くと続いている。(図4-2-1)

図4-2-2 ユニバーサルデザインについて、重要だと思うもの  
(年代別) 上位6項目



上位6項目について、年代別でみると、「動画やSNSによるPR」は30代(40.7%)が約4割と、全体(24.4%)を16.3ポイント上回っている。(図4-2-2)

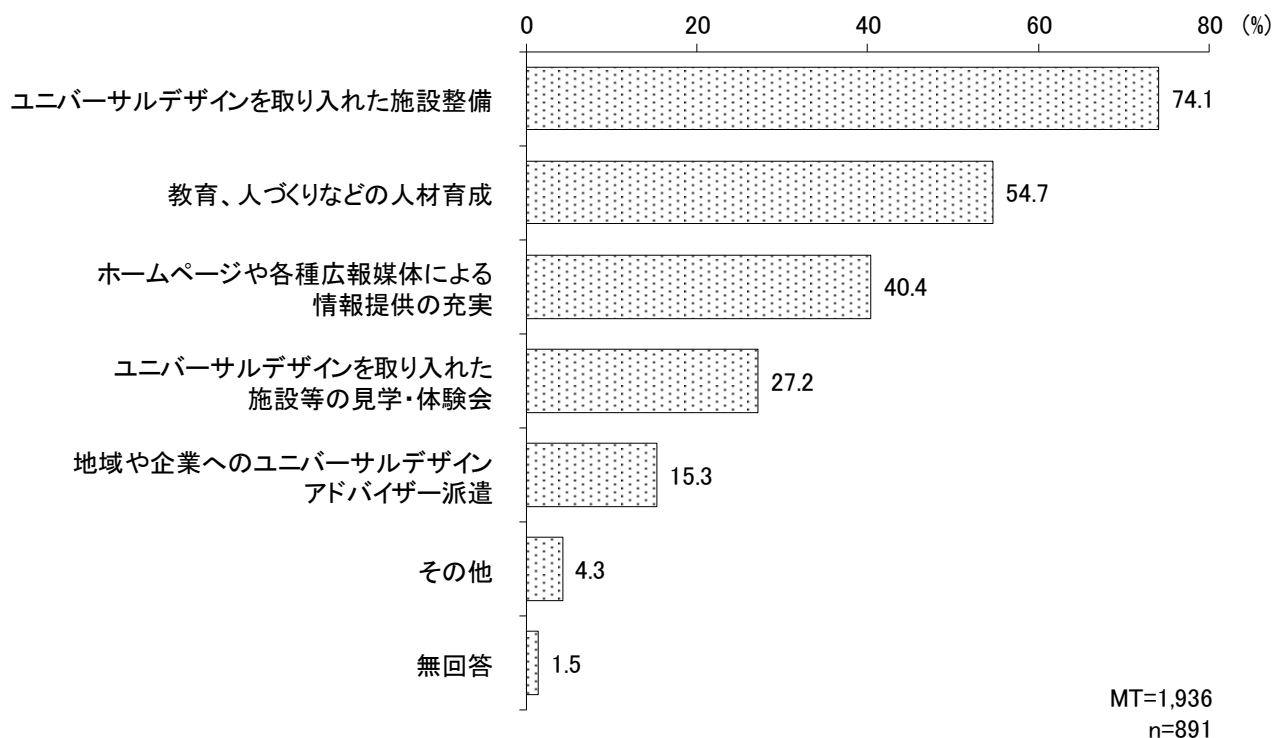
Ⅱ 調査の結果（テーマ4 ユニバーサルデザインについて）

（3）ユニバーサルデザインについて区に期待すること

◎「ユニバーサルデザインを取り入れた施設整備」が7割台半ば近く

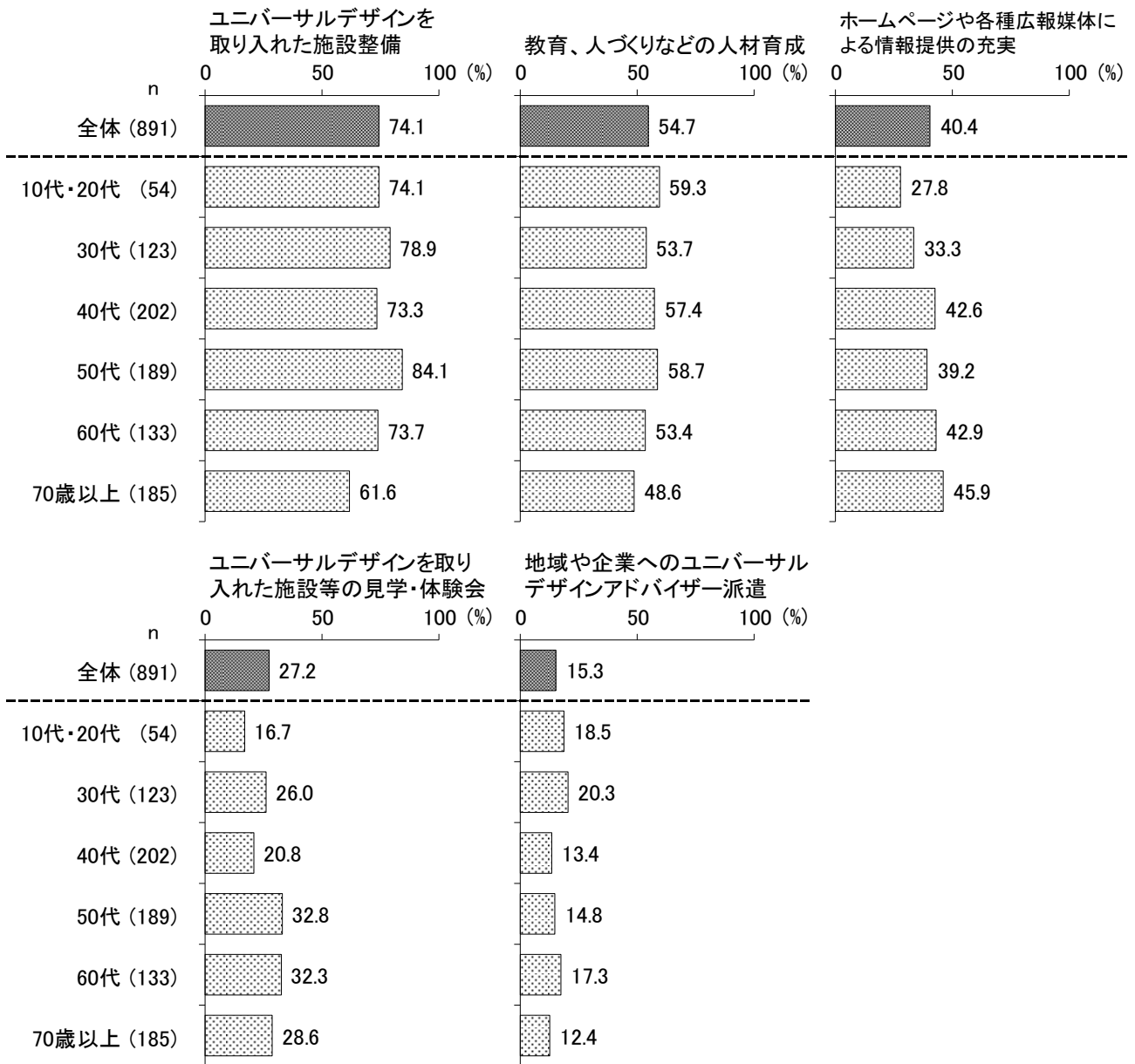
問14 ユニバーサルデザインについて、あなたが区に期待することは何ですか。 (あてはまるものに3つまで○をつけてください)		(n=891)
1 ユニバーサルデザインを取り入れた施設整備		74.1%
2 教育、人づくりなどの人材育成		54.7
3 ホームページや各種広報媒体による情報提供の充実		40.4
4 ユニバーサルデザインを取り入れた施設等の見学・体験会		27.2
5 地域や企業へのユニバーサルデザインアドバイザー派遣		15.3
6 その他		4.3
無回答		1.5

図4-3-1 ユニバーサルデザインについて区に期待すること



ユニバーサルデザインについて区に期待することは、「ユニバーサルデザインを取り入れた施設整備」(74.1%)が7割台半ば近くで最も高く、次いで「教育、人づくりなどの人材育成」(54.7%)が5割台半ば近くと続いている。(図4-3-1)

図4-3-2 ユニバーサルデザインについて区に期待すること  
(年代別) 上位5項目



上位5項目について、年代別でみると、「ユニバーサルデザインを取り入れた施設整備」は50代(84.1%)が8割台半ば近くと、全体(74.1%)を10.0ポイント上回っている。(図4-3-2)

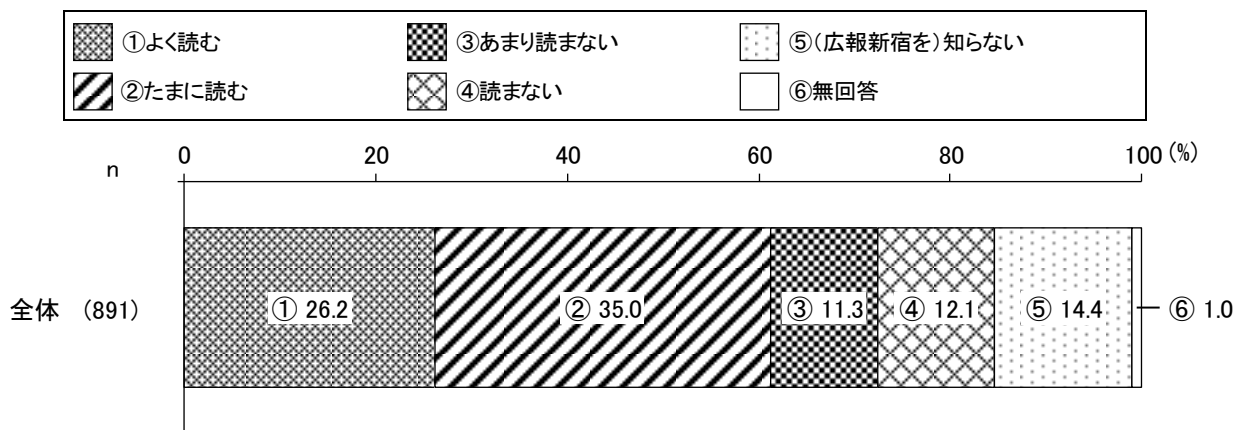
## テーマ5 広報新宿について

### （1）広報新宿の閲覧状況

◎「たまに読む」が3割台半ば

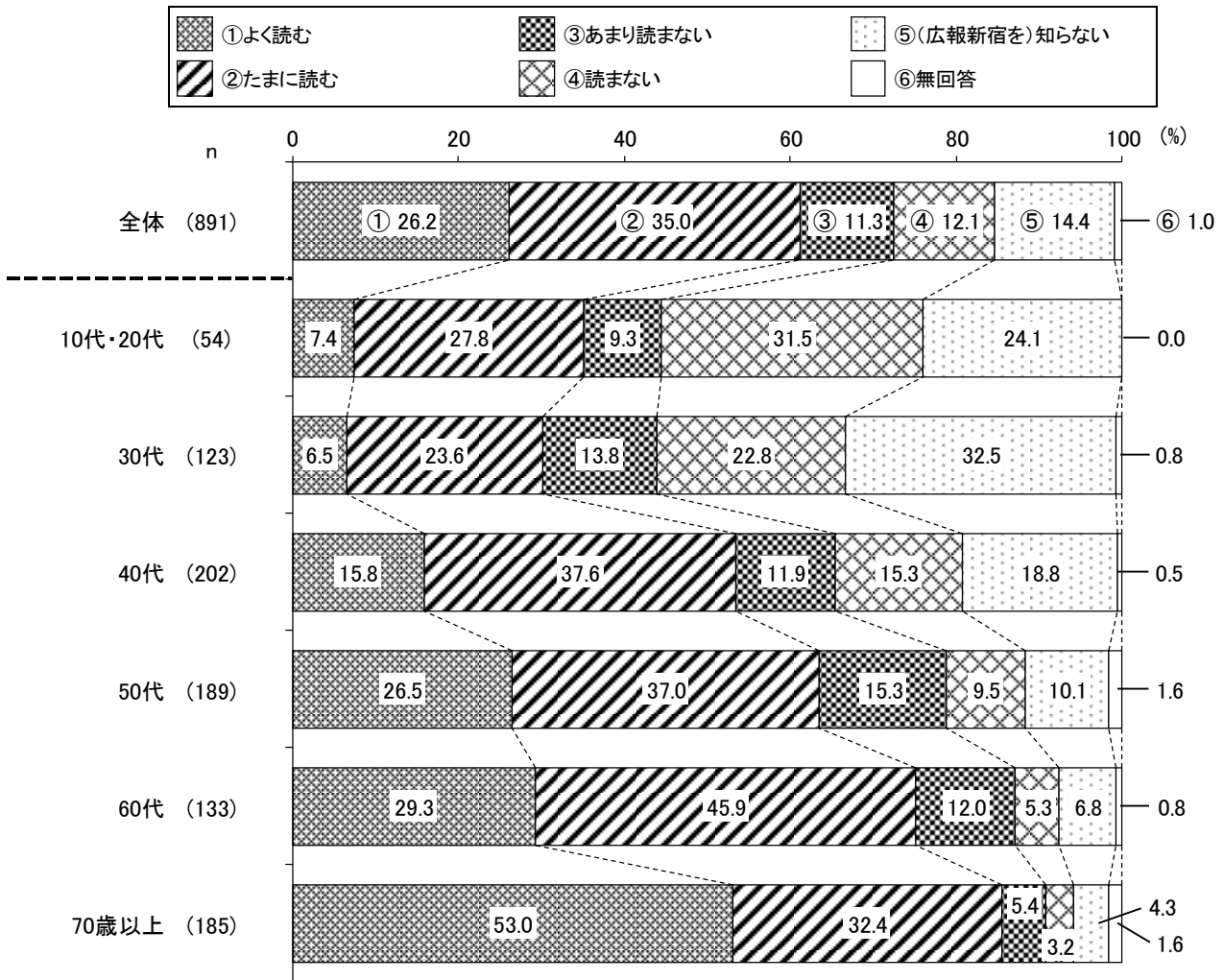
問15 広報新宿を毎月5日、15日、25日の3回発行していますが、読んでいますか。 (○は1つ)		(n=891)
1	よく読む	26.2%
2	たまに読む	35.0
3	あまり読まない	11.3
4	読まない	12.1
5	(広報新宿を)知らない	14.4
	無回答	1.0

図5-1-1 広報新宿の閲覧状況



広報新宿の閲覧状況は、「よく読む」(26.2%)と「たまに読む」(35.0%)を合わせた《読む》(61.2%)が6割強、「あまり読まない」(11.3%)と「読まない」(12.1%)を合わせた《読まない》(23.4%)が2割台半ば近くとなっている。(図5-1-1)

図5-1-2 広報新宿の閲覧状況  
(年代別)



年代別で見ると、「よく読む」は年代が上がるほど高くなる傾向があり、70歳以上(53.0%)が5割台半ば近くと最も高く、全体(26.2%)を26.8ポイント上回っている。次いで60代(29.3%)が3割弱、50代(26.5%)が2割台半ばを超えて続いている。(図5-1-2)

## II 調査の結果（テーマ5 広報新宿について）

### （2）広報新宿を閲覧する媒体

◎「紙面」が約9割

問15-1 問15で、「1」～「3」に○をした方にお伺いします。

広報新宿は紙面のほか、新宿区ホームページやマチイロ・マイ広報紙（※）ではパソコン・スマートフォンなどで読むことができます。どの媒体でご覧になっていますか。（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

	(n=646)
1 紙面	90.2%
2 新宿区ホームページ	9.6
3 マチイロ	2.2
4 マイ広報紙	2.2
5 その他	0.3
無回答	1.9

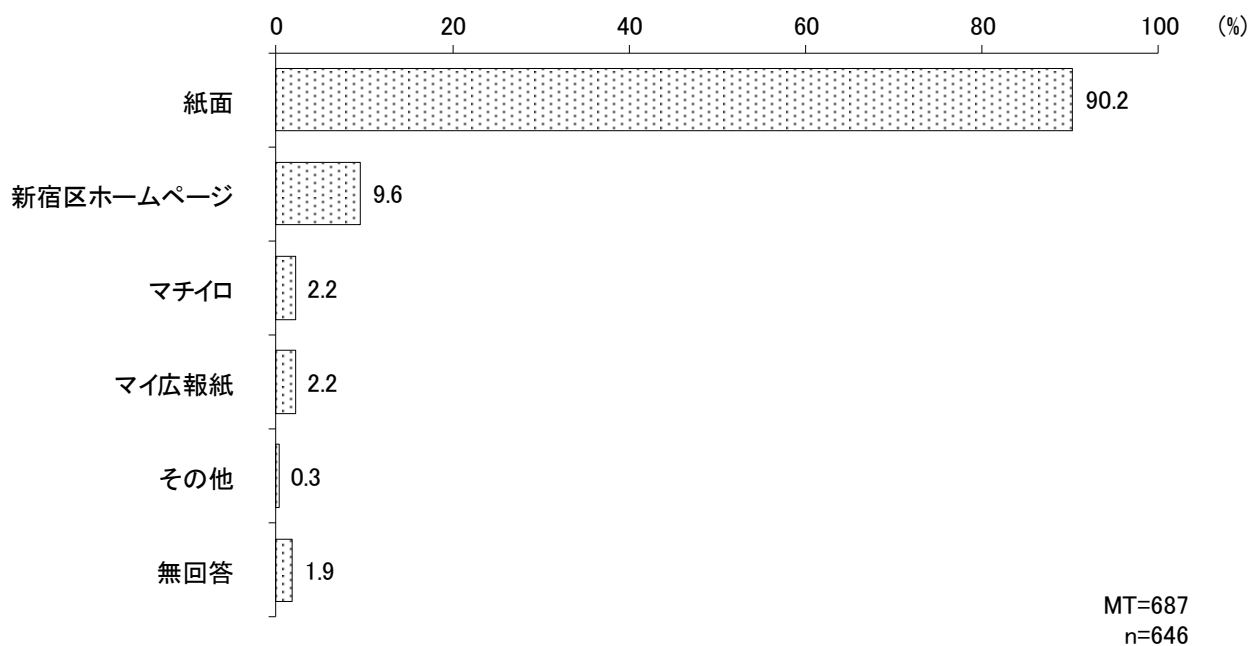
（※）マチイロ

区市町村の広報紙を閲覧できるスマートフォン・タブレット向けアプリ

（※）マイ広報紙

広報紙の内容を読むことができるサイト

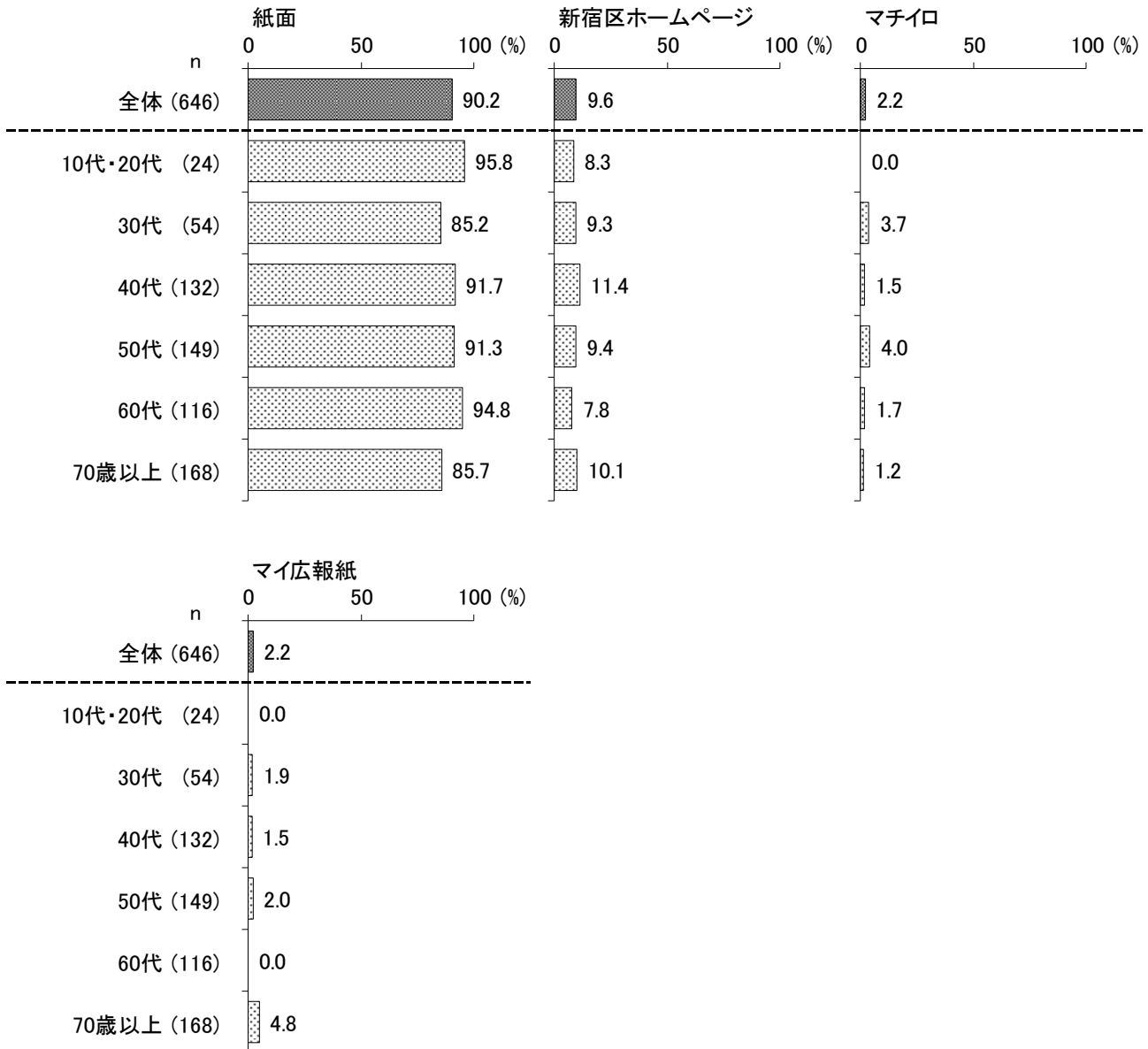
図5-2-1 広報新宿を閲覧する媒体



広報新宿を閲覧する媒体は、「紙面」（90.2%）が約9割で最も高く、次いで「新宿区ホームページ」（9.6%）が1割弱と続いている。（図5-2-1）



図5-2-2 広報新宿を閲覧する媒体  
(年代別) 上位4項目



上位4項目について、年代別でみると、「紙面」は10代・20代(95.8%)が9割台半ばと、全体(90.2%)を5.6ポイント上回っている。

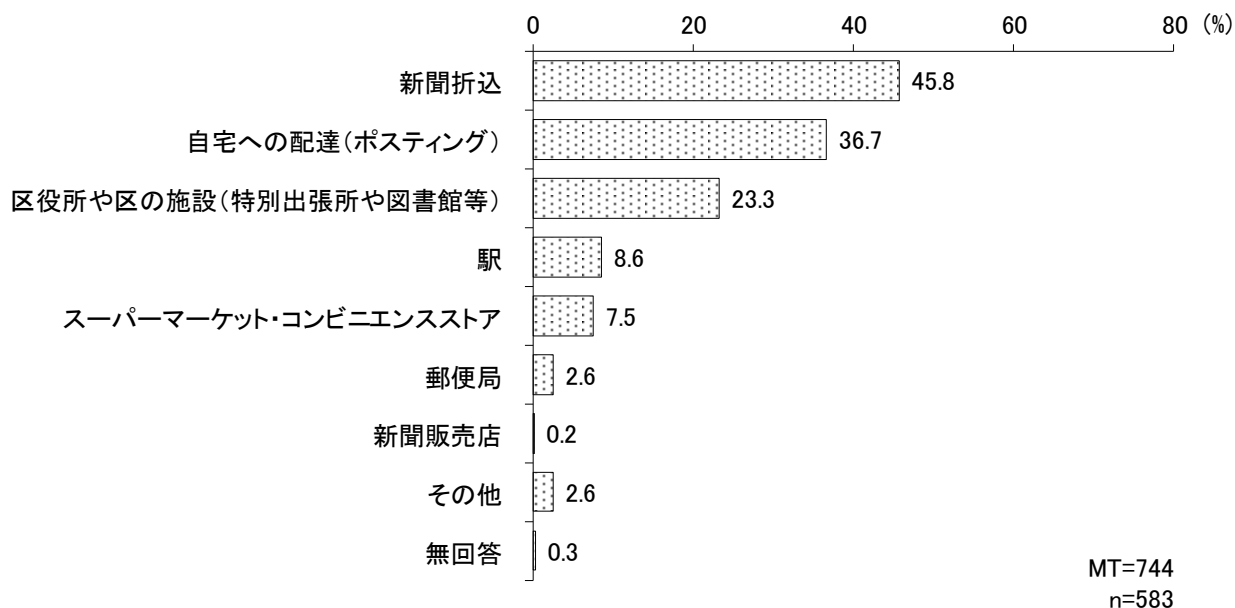
「マイ広報紙」についてみると、70歳以上(4.8%)が全体(2.2%)を2.6ポイント上回っている。  
(図5-2-2)

### （3）広報新宿の入手場所

◎「新聞折込」が4割台半ば

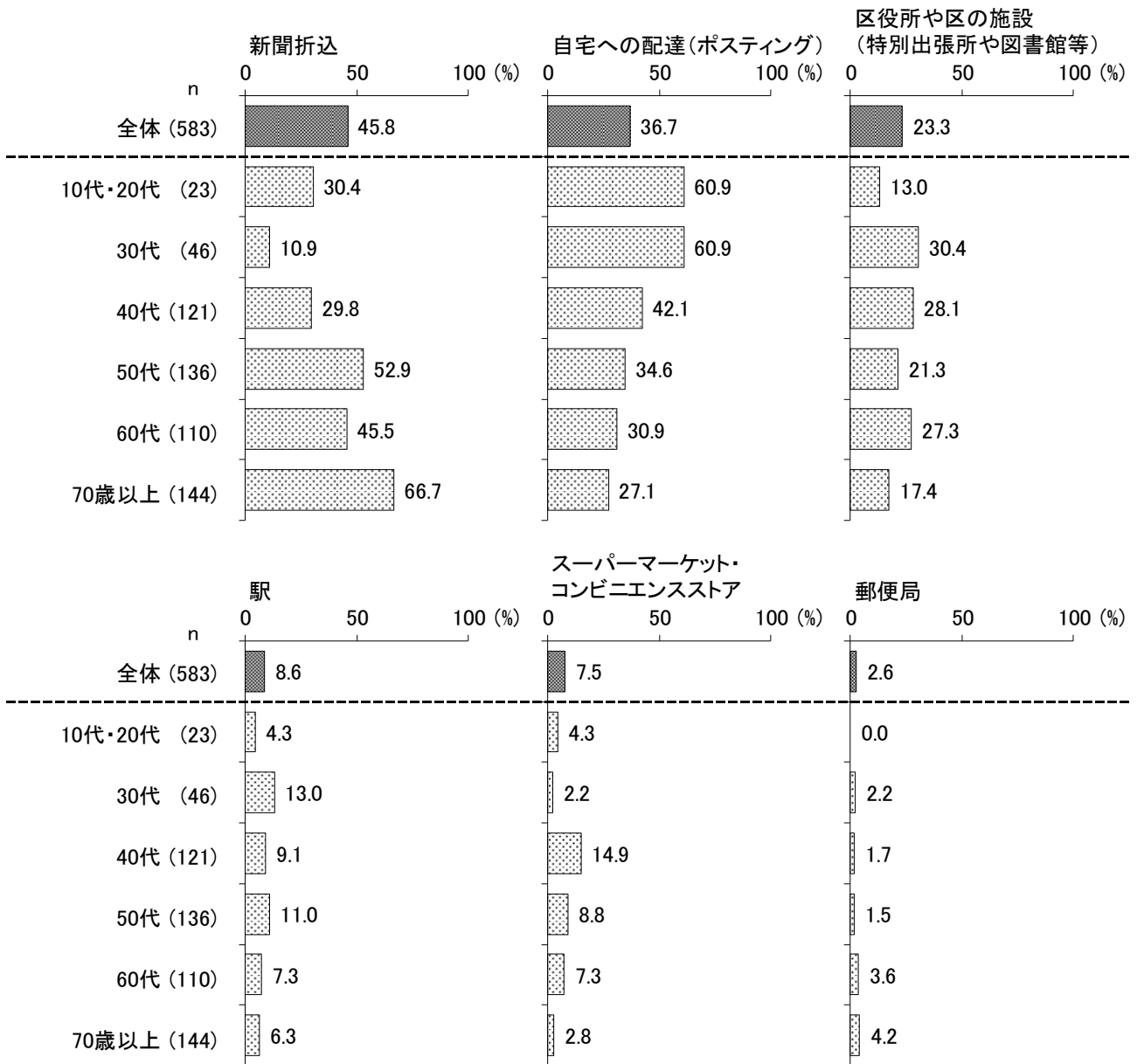
問15-2 問15-1で、「1 紙面」に○をした方にお伺いします。		
広報新宿をどこで入手していますか。		
(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)		
		(n=583)
1	新聞折込	45.8%
2	自宅への配達（ポスティング）	36.7
3	区役所や区の施設（特別出張所や図書館等）	23.3
4	駅	8.6
5	郵便局	2.6
6	新聞販売店	0.2
7	スーパーマーケット・コンビニエンスストア	7.5
8	その他	2.6
	無回答	0.3

図5-3-1 広報新宿の入手場所



広報新宿の入手場所は、「新聞折込」（45.8%）が4割台半ばで最も高く、次いで「自宅への配達（ポスティング）」（36.7%）が3割台半ばを超え、「区役所や区の施設（特別出張所や図書館等）」（23.3%）が2割台半ば近くと続いている。（図5-3-1）

図5-3-2 広報新宿の入手場所  
(年代別) 上位6項目



上位6項目について、年代別でみると、10代・20代及び30代は「新聞折込」より「自宅への配達(ポスティング)」の割合が高く、50代・60代・70歳以上は「自宅への配達(ポスティング)」より「新聞折込」の割合が高くなっている。(図5-3-2)

Ⅱ 調査の結果（テーマ5 広報新宿について）

（4）広報新宿は読みやすくなったと思うか

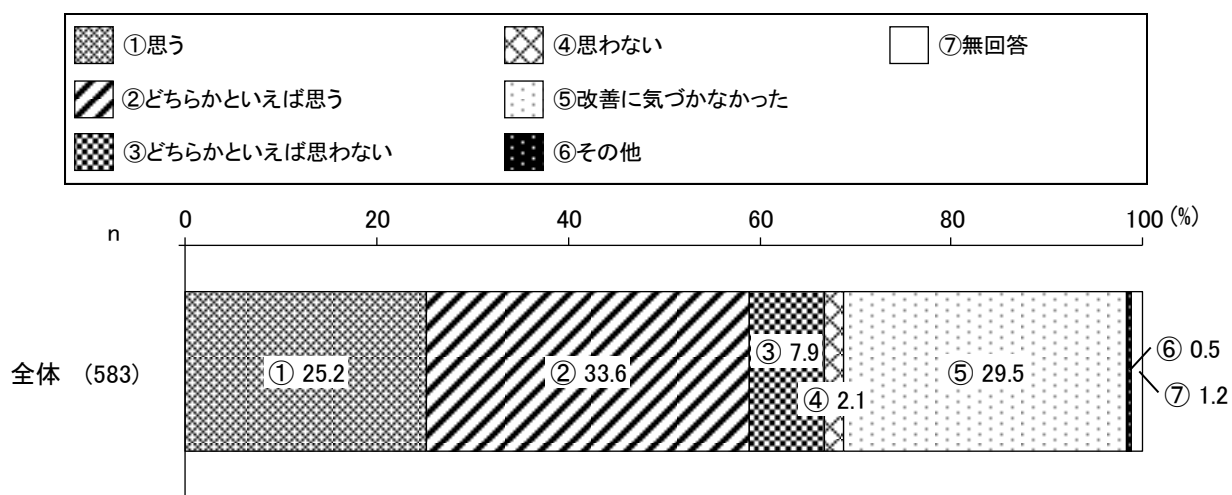
◎「どちらかといえば思う」が3割台半ば近く

問15-3 問15-1で、「1 紙面」に○をした方にお伺いします。  
 広報新宿を読みやすくするため、令和4年4月5日号から、字体の変更や文字量の削減、紙質の変更などの改善を行いました。広報新宿は読みやすくなったと思いますか。（○は1つ）

(n=583)

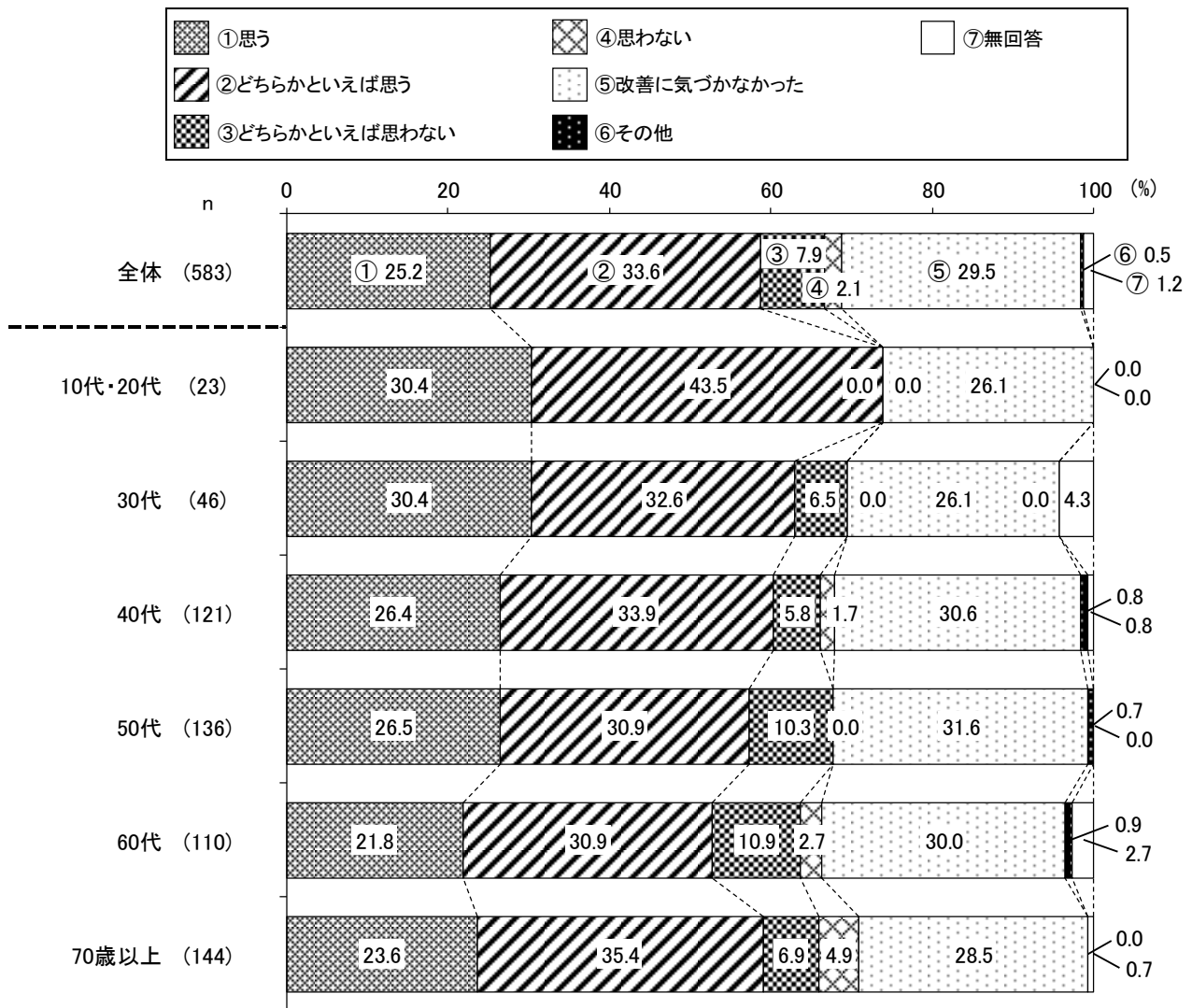
1	思う	25.2%
2	どちらかといえば思う	33.6
3	どちらかといえば思わない	7.9
4	思わない	2.1
5	改善に気づかなかった	29.5
6	その他	0.5
	無回答	1.2

図5-4-1 広報新宿は読みやすくなったと思うか



広報新宿は読みやすくなったと思うかは、「思う」(25.2%)と「どちらかといえば思う」(33.6%)を合わせた《思う》(58.8%)が6割近く、「どちらかといえば思わない」(7.9%)と「思わない」(2.1%)を合わせた《思わない》(10.0%)が1割となっている。(図5-4-1)

図5-4-2 広報新宿は読みやすくなったと思うか  
(年代別)



全ての年代で、「思う」と「どちらかといえば思う」を合わせた《思う》は、5割を超えている。  
年代別でみると、「どちらかといえば思う」は10代・20代(43.5%)が4割台半ば近くと、全体(33.6%)を9.9ポイント上回っている。(図5-4-2)

（5）広報新宿の改善された点

◎「1面（表紙面）が良くなった」が5割強

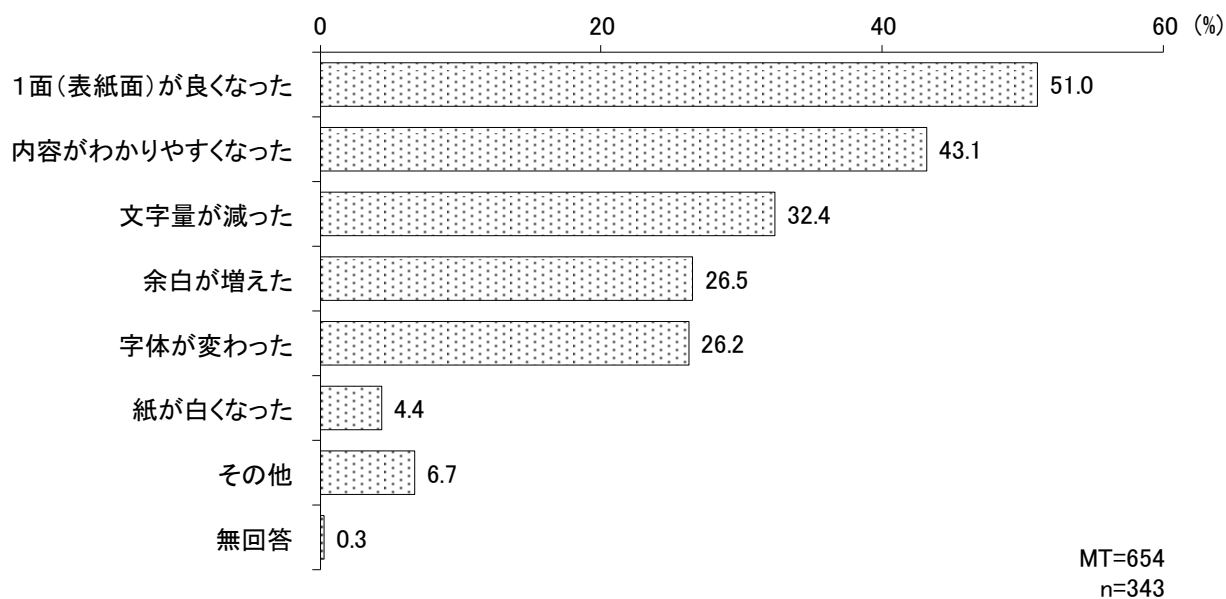
問15-4 問15-3で、「1」または「2」に○をした方にお伺いします。

読みやすくなった改善点は何ですか。

（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

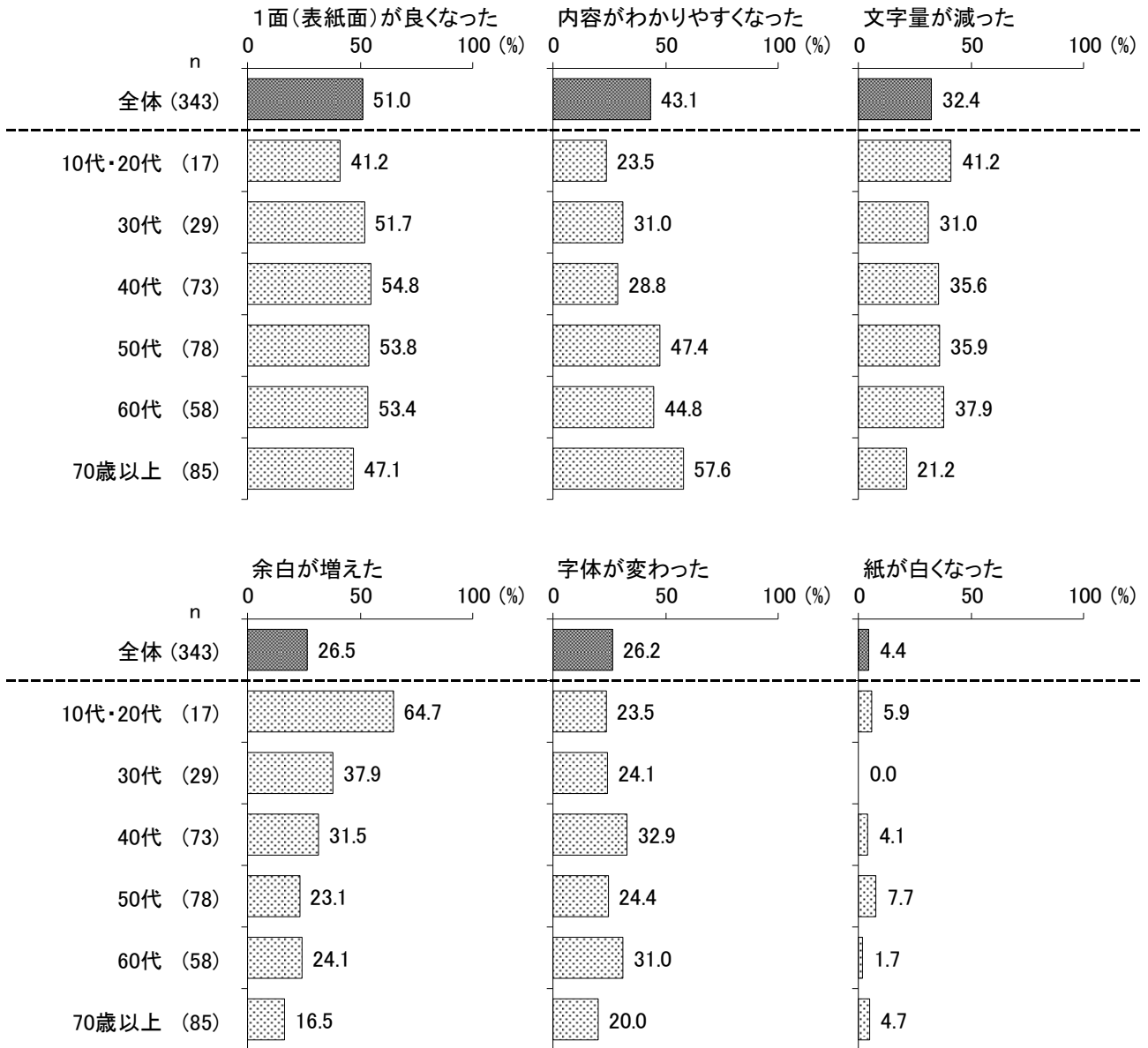
	(n=343)
1 字体が変わった	26.2%
2 余白が増えた	26.5
3 文字量が減った	32.4
4 紙が白くなった	4.4
5 内容がわかりやすくなった	43.1
6 1面（表紙面）が良くなった	51.0
7 その他	6.7
無回答	0.3

図5-5-1 広報新宿の改善された点



広報新宿の改善された点は、「1面（表紙面）が良くなった」（51.0%）が5割強で最も高く、次いで「内容がわかりやすくなった」（43.1%）が4割台半ば近く、「文字量が減った」（32.4%）が3割強と続いている。（図5-5-1）

図5-5-2 広報新宿の改善された点  
(年代別) 上位6項目



上位6項目について、年代別でみると、「内容がわかりやすくなった」は70歳以上(57.6%)が5割台半ばを超え、全体(43.1%)を14.5ポイント上回っている。「文字量が減った」は10代・20代(41.2%)が4割強と、全体(32.4%)を8.8ポイント上回っている。また、「余白が増えた」は10代・20代(64.7%)が6割台半ば近くと、全体(26.5%)を38.2ポイント上回っている。(図5-5-2)

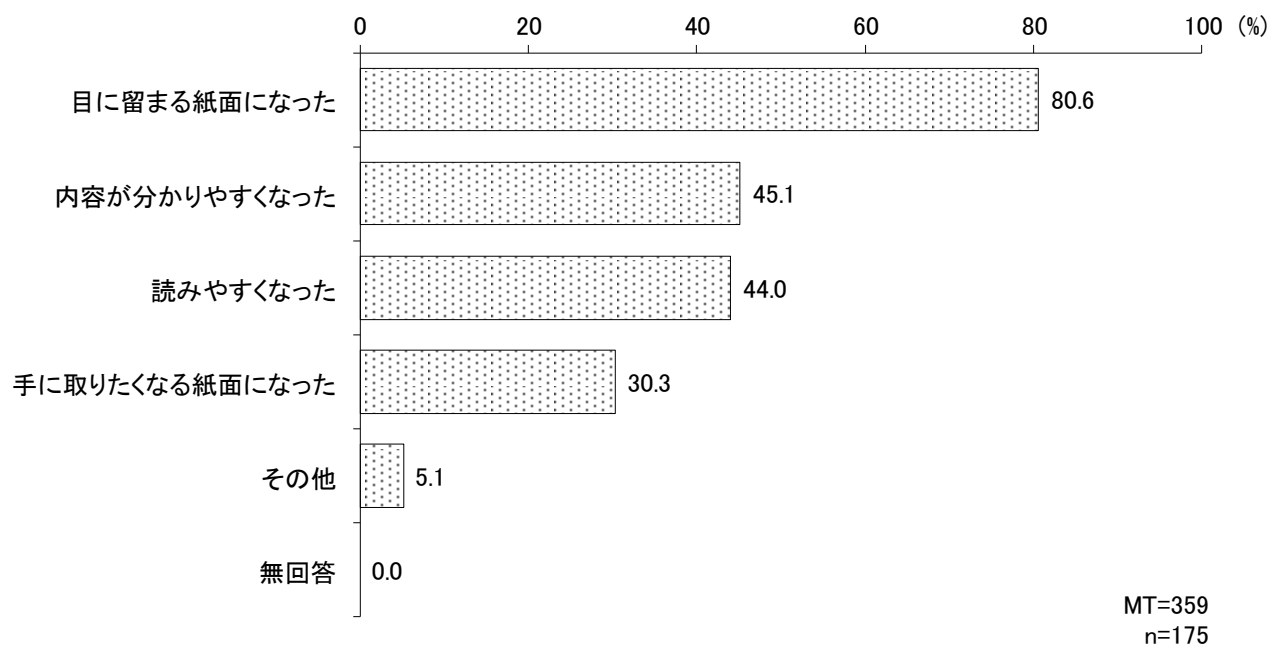
（6）広報新宿の1面が良くなったと思うところ

◎「目に留まる紙面になった」が約8割

問15-5 問15-4で、「6 1面（表紙面）が良くなった」に○をした方にお伺いします。  
1面（表紙面）が良くなったと思うところはどこですか。  
（あてはまるものにいくつでも○をつけてください）

	(n=175)
1 読みやすくなった	44.0%
2 内容が分かりやすくなった	45.1
3 目に留まる紙面になった	80.6
4 手に取りたくなる紙面になった	30.3
5 その他	5.1
無回答	0.0

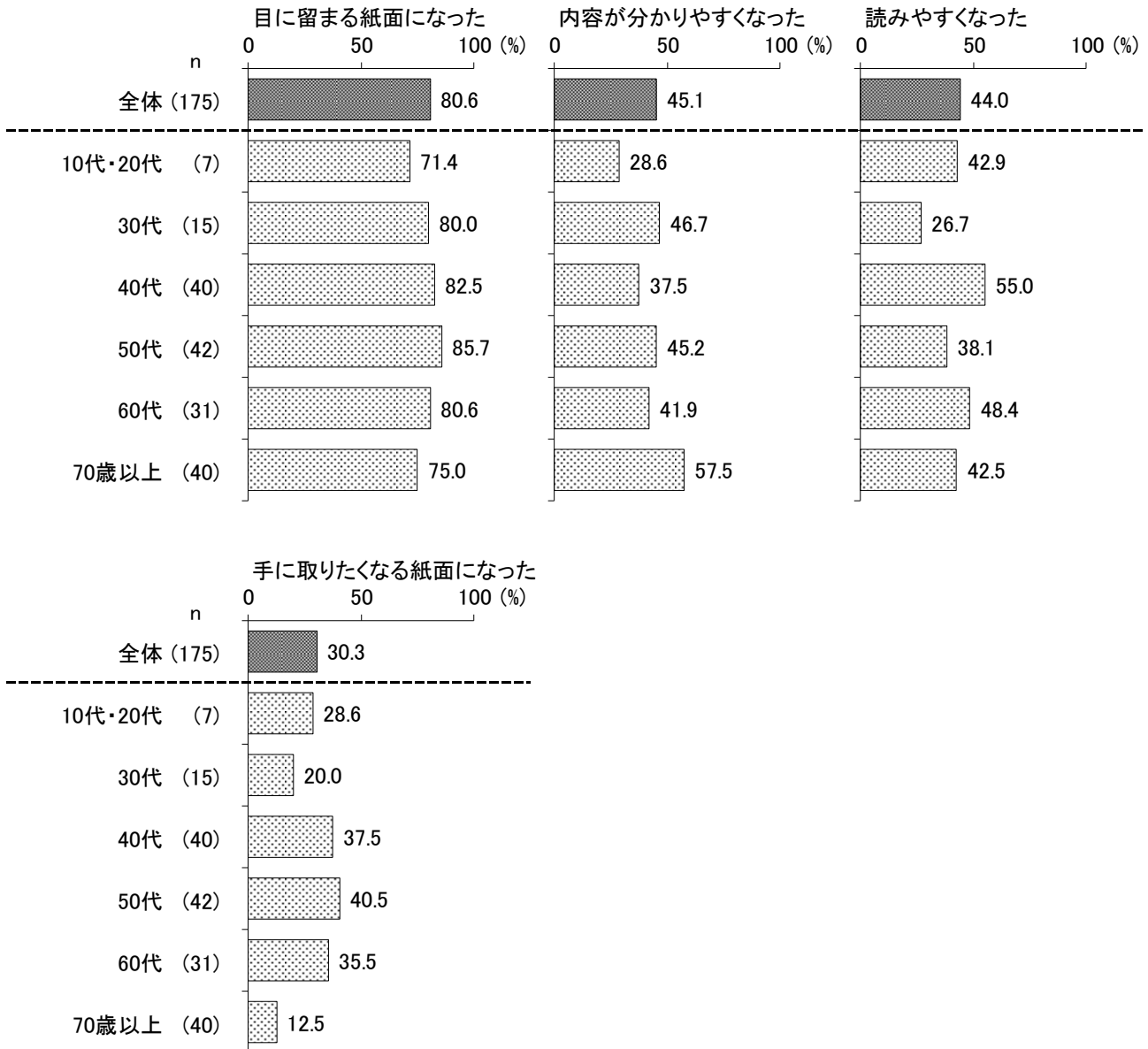
図5-6-1 広報新宿の1面が良くなったと思うところ



広報新宿の1面が良くなったと思うところは、「目に留まる紙面になった」(80.6%)が約8割で最も高く、次いで「内容が分かりやすくなった」(45.1%)が4割台半ば、「読みやすくなった」(44.0%)が4割台半ば近くと続いている。(図5-6-1)



図5-6-2 広報新宿の1面が良くなったと思うところ  
(年代別) 上位4項目



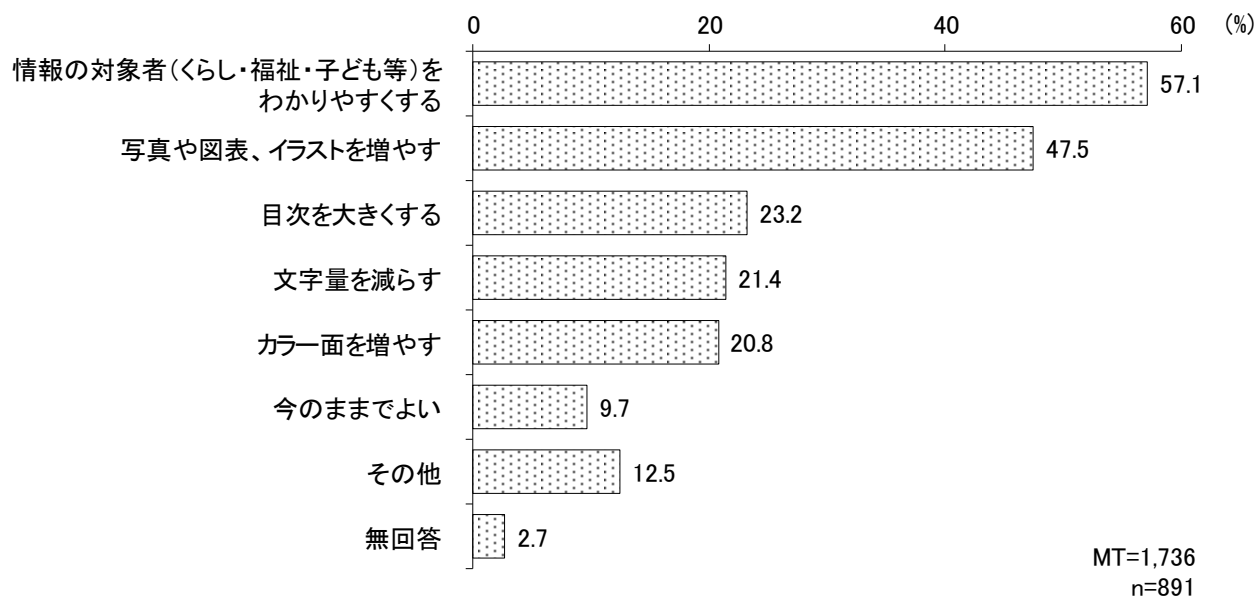
上位4項目について、年代別で見ると、「目にとまる紙面になった」は全ての年代で7割を超えている。また、「内容が分かりやすくなった」は70歳以上(57.5%)が5割台半ばを超え、全体(45.1%)を12.4ポイント上回っている。(図5-6-2)

（7）広報新宿を読みやすくするための改善点

◎「情報の対象者（くらし・福祉・子ども等）をわかりやすくする」が5割台半ばを超え

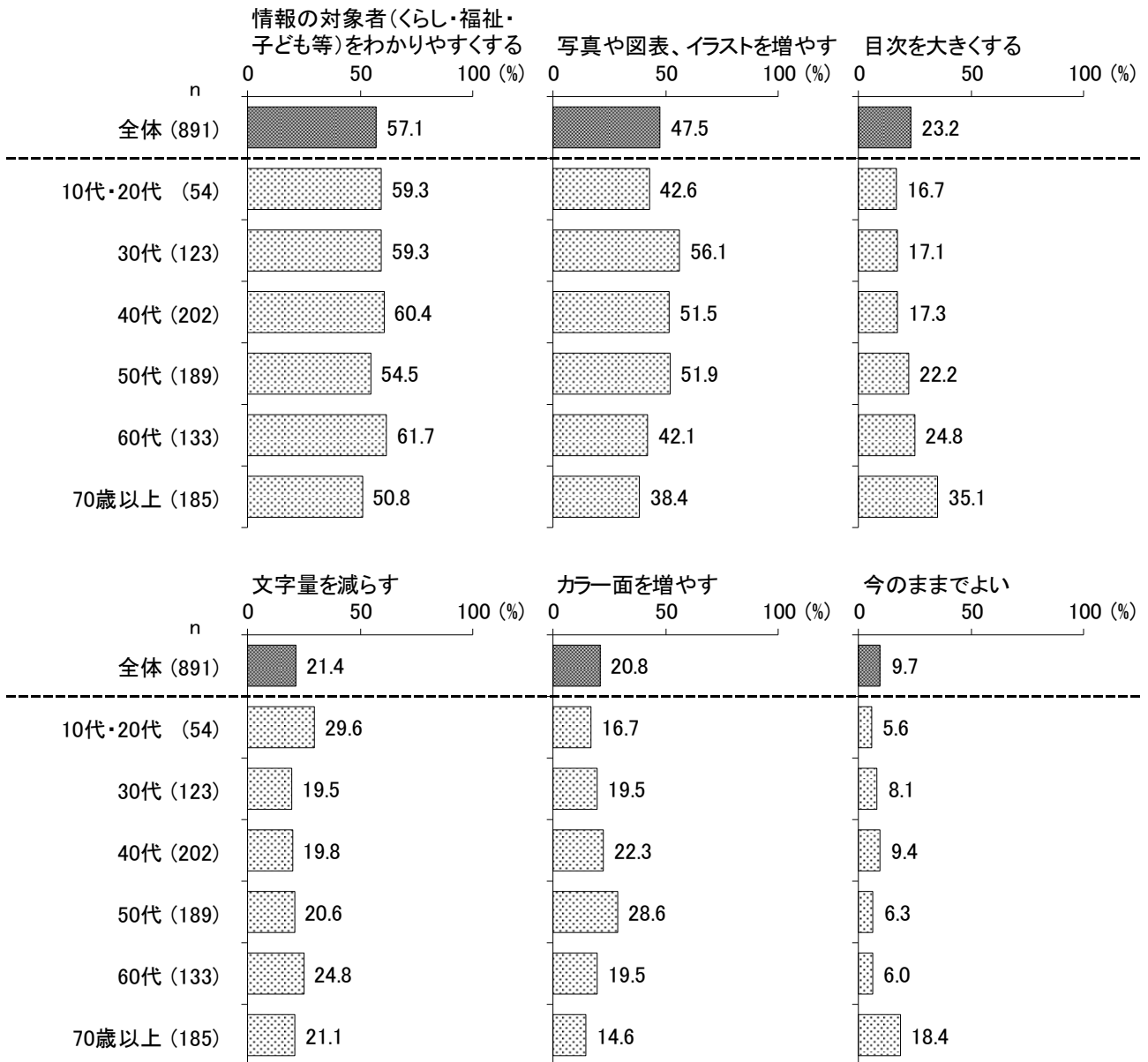
問16 広報新宿を読みやすくするためには、どのような改善をしたらよいと思いますか。 （あてはまるものに3つまで○をつけてください）		(n=891)
1	写真や図表、イラストを増やす	47.5%
2	文字量を減らす	21.4
3	カラー面を増やす	20.8
4	情報の対象者（くらし・福祉・子ども等）をわかりやすくする	57.1
5	目次を大きくする	23.2
6	今のままでよい	9.7
7	その他	12.5
	無回答	2.7

図5-7-1 広報新宿を読みやすくするための改善点



広報新宿を読みやすくするための改善点は、「情報の対象者（くらし・福祉・子ども等）をわかりやすくする」（57.1%）が5割台半ばを超え最も高く、次いで「写真や図表、イラストを増やす」（47.5%）が4割台半ばを超えて続いている。（図5-7-1）

図5-7-2 広報新宿を読みやすくするための改善点  
(年代別) 上位6項目



上位6項目について、年代別でみると、「目次を大きくする」は70歳以上(35.1%)が3割台半ばと、全体(23.2%)を11.9ポイント上回っている。また、「文字量を減らす」は10代・20代(29.6%)が3割弱と、全体(21.4%)を8.2ポイント上回っている。(図5-7-2)

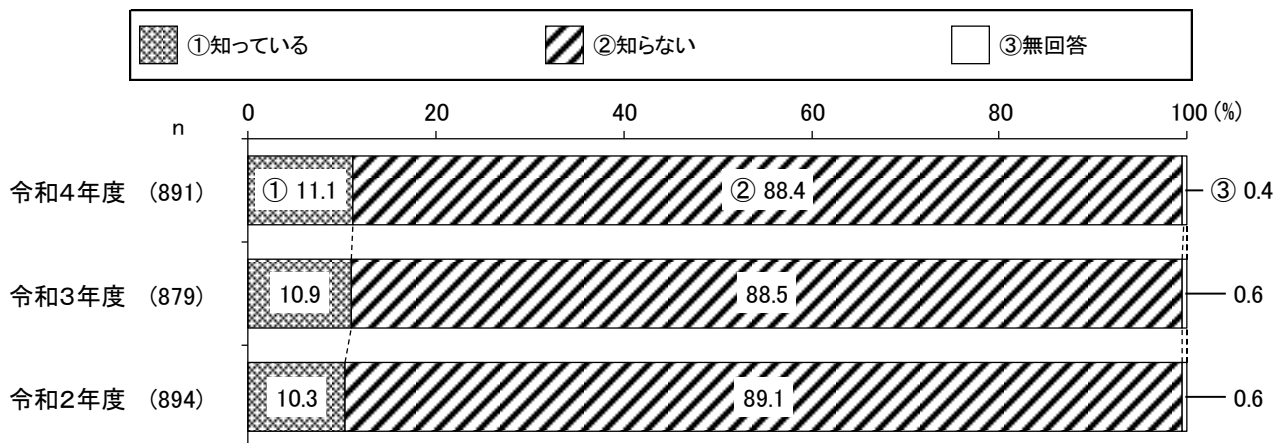
## テーマ6 苦情処理機関「区民の声委員会」について

### （1）「新宿区区民の声委員会」の認知度

◎「知らない」が9割近く

問17 あなたは、苦情の申し立てをできる、相談できる制度として「新宿区区民の声委員会」が、区にあることを知っていますか。（○は1つ）		(n=891)
1	知っている	11.1%
2	知らない	88.4
	無回答	0.4

図6-1 「新宿区区民の声委員会」の認知度  
（経年推移）



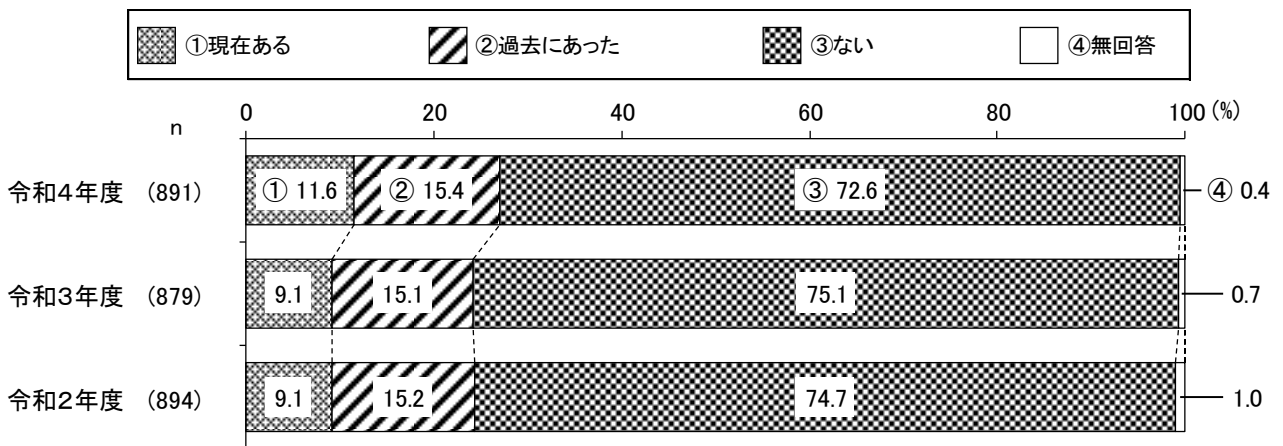
「新宿区区民の声委員会」の認知度は、「知っている」(11.1%)が1割強、「知らない」(88.4%)が9割近くとなっている。(図6-1)

(2) 「新宿区区民の声委員会」に相談したい案件の有無

◎新宿区区民の声委員会に相談したい案件は「ない」が7割強

問18 あなたは、苦情処理機関「新宿区区民の声委員会」を利用したいと思うことがありますか。(〇は1つ)		(n=891)
1	現在ある	11.6%
2	過去にあった	15.4
3	ない	72.6
	無回答	0.4

図6-2 「新宿区区民の声委員会」に相談したい案件の有無  
(経年推移)



「新宿区区民の声委員会」に相談したい案件の有無は、「ない」(72.6%)が7割強となっている。一方、「過去にあった」(15.4%)が1割台半ば、「現在ある」(11.6%)が1割強となっている。(図6-2)

### Ⅲ 資料（調査票）

## 令和4年度 新宿区区政モニターアンケート 第3回

- テーマ1 歌舞伎町ルネッサンスの推進について  
テーマ2 生涯を通じた女性の健康づくりについて  
テーマ3 受動喫煙防止対策について  
テーマ4 ユニバーサルデザインについて  
テーマ5 広報新宿について  
テーマ6 苦情処理機関「区民の声委員会」について

テーマ2・テーマ5に関する資料を同封しています。ご回答の前に一読ください。

#### アンケートご記入にあたってのお願い

1. 回答は、**あてはまる番号に○印**をつけてください。設問によって、**1つだけの場合や、あてはまるもの全てに○印をつけていただく場合**などがあります。問いの最後に“(○は1つ)”などと記載してありますので、確認のうえご記入をお願いいたします。
2. **前問の回答によって、次に答える設問が変わる場合があります。**  
(例：問1で、「1」に○をした方におたずねします、など)  
問いの前文や、回答欄の矢印等の指示に従ってお進みください。
3. 「その他」を選んだ場合には、( ) 内に具体的な回答をご記入ください。

全てご記入頂けましたら、同封の返信用封筒にて

**整理票を取り外さず、**

**令和4年11月18日（金）までにご返送ください。**

※整理票は、ご協力のお礼を発送するために必要なものです。開封後直ちに調査票から切り離しますので、調査票によって個人が特定されることは一切ございません。

問合せ先 新宿区総合政策部 区政情報課 広聴係  
電話 03-5273-4065 (直通)  
FAX 03-5272-5500



## テーマ1 歌舞伎町ルネッサンスの推進について

区は、地元商店街振興組合、町会、警察・消防をはじめとする関係行政機関、民間企業等と強く連携して、歌舞伎町を誰もが安心して楽しめるまちへ再生する取組「歌舞伎町ルネッサンス」を推進しています。歌舞伎町ルネッサンスでは、路上清掃、客引き行為等の指導や防止パトロールなどを実施し、環境美化と安全・安心なまちづくりを進めるとともに、様々なイベントを開催し、賑わいづくりと文化の創造・発信にも取り組んでいます。

問1 歌舞伎町に行く主な目的は何ですか。(あてはまるものに3つまで○をつけてください)

- 1 買い物・ショッピング
- 2 映画・カラオケ等の娯楽
- 3 散策
- 4 遊技場（ゲームセンターなど）
- 5 仕事関係
- 6 飲食（主に昼間）
- 7 飲食（主に夜間）
- 8 歌舞伎町に行ったことがない
- 9 その他（ ）

問2 あなたは今後、歌舞伎町へ行きたいと思いませんか。(○は1つ)

- 1 行きたい
- 2 行きたくない
- 3 わからない

問3 あなたは、「歌舞伎町ルネッサンス」の取組を知っていますか。(○は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはあるが、詳しくは知らない
- 3 知らない

問4 あなたの歌舞伎町の印象は、以前と比べて変わったと思いますか。

(ア～オそれぞれで、1～3に1つだけ○をつけてください)

	思う	思わない	わからない
ア イメージが向上した	1	2	3
イ 安全になった	1	2	3
ウ きれいになった	1	2	3
エ 文化の発信が盛んになった	1	2	3
オ 賑わいのあるまちになった	1	2	3



## テーマ2 生涯を通じた女性の健康づくりについて

区は、女性の健康づくりの拠点として、四谷保健センター（四谷三栄町10番16号）内にある「女性の健康支援センター」において、女性の健康に関する知識と理解を深め、健康づくりに取り組めるよう支援しています。

※女性の健康支援センターについては、同封のリーフレットをご覧ください。

質問内容は女性の健康づくりに関してですが、性別にかかわらずご回答ください。

問5 あなたは、四谷保健センター内にある「女性の健康支援センター」を知っていますか。

(〇は1つ)

1 知っている

2 知らない

問6 「女性の健康支援センター」で行っている女性の健康専門相談（※）について知っていますか。(〇は1つ)

1 知っている

2 知らない

(※) 女性の健康支援センターでは、産婦人科全般と更年期の専門相談を月1回ずつ実施しています。女性の産婦人科医師が一人30分程度の個別相談に応じます。新宿区在住の女性限定で、思春期から利用できます。(要予約)

問7 区では、毎年10月のピンクリボン月間にあわせ、乳がん検診の受診勧奨や乳がんの正しい知識の普及啓発など下記の取組を行っています。

あなたが知っているものは何ですか。

(あてはまるものにいくつでも〇をつけてください)

1 図書館の「図書貸出レシート」の裏面印刷

2 区有施設の女子トイレでの乳がんに関する情報が印刷されたステッカーの掲示

3 新宿駅東口の街路灯にピンクリボンフラッグの掲出

4 ユニカビジョン（新宿駅東口前の旧ヤマダ電機LABI新宿東口館）での乳がんに関する情報の放映

5 広報新宿でピンクリボン月間記事の掲載

6 どれも知らない

### テーマ3 受動喫煙防止対策について

令和2年4月1日より改正健康増進法及び東京都受動喫煙防止条例が全面施行され、多数の人（2人以上）が利用する施設（事務所、飲食店、娯楽施設等。住居などのプライベート空間は除く。）は、原則屋内禁煙となり、基準を満たした喫煙室以外での喫煙は禁止となっています。また、飲食店では、店頭喫煙状況を表示することが義務付けられています。

問8 多数の人（2人以上）が利用する施設は、原則屋内禁煙（基準を満たした喫煙室でのみ喫煙可）になったことを、あなたは知っていましたか。（〇は1つ）

- |         |        |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問9 あなたはおおよそ1年の間に、次の場所で「受動喫煙（※）」を経験したことはありますか。

（あてはまるものにいくつでも〇をつけてください）

- |                       |   |
|-----------------------|---|
| 1 飲食店                 |   |
| 2 飲食店以外の店舗、商業施設、娯楽施設等 |   |
| 3 職場、事務所等             |   |
| 4 病院、薬局等              |   |
| 5 保育所、幼稚園、学校等         |   |
| 6 路上などの屋外             |   |
| 7 その他（                | ） |
| 8 「受動喫煙」を経験していない      |   |

（※）「受動喫煙」とは、人が他人の喫煙によりたばこから発生した煙にさらされることをいいます。

問10 あなたは、飲食店の店頭にある「喫煙室あり」または「禁煙」の表示を、店を選ぶ際の参考にしていますか。（〇は1つ）

- |                    |
|--------------------|
| 1 必ず参考にしている        |
| 2 どちらかといえば参考にしている  |
| 3 どちらかといえば参考にしていない |
| 4 全く参考にしていない       |
| 5 表示を見たことが無い       |

問 1 1 区では、民間事業者等が設置する公衆喫煙所や喫煙専用室等の整備費用の一部を助成し、分煙環境の整備を進めています。区内での喫煙所を現在よりも増やしてほしいと思いますか。(〇は1つ)

<p>1 喫煙所を増やしてほしい</p> <p>2 喫煙所を増やす必要はない</p> <p>3 どちらともいえない</p> <p>4 その他 ( )</p>	→ 問 1 1 - 1 へ
--	---------------

問 1 1 - 1 問 1 1 で、「1 喫煙所を増やしてほしい」に〇をした方にお伺いします。  
どのような場所に喫煙所を増やしてほしいと思いますか。  
(あてはまるものいくつかでも〇をつけてください)

<p>1 飲食店</p> <p>2 飲食店以外の店舗、商業施設、娯楽施設等</p> <p>3 職場、事務所等</p> <p>4 複合ビルなどの屋内</p> <p>5 駅前などの屋外</p> <p>6 その他 ( )</p>
---

## テーマ4 ユニバーサルデザインについて

新宿区では、だれもが移動しやすく、利用しやすく、わかりやすいまちの実現のため令和2年3月に「新宿区ユニバーサルデザインまちづくり条例」を制定し、ユニバーサルデザイン\*のまちづくりを推進しています。区民の皆様が感じているユニバーサルデザインに対する課題等を把握することで、今後、ユニバーサルデザインを推進していく上での参考にしたいと考えています。

### 用語解説 ユニバーサルデザインとは

ユニバーサルデザインは、年齢、性別、国籍、個人の能力等にかかわらず、できるだけ多くの人々が利用できるよう生活環境その他の環境を作り上げることです。

問12 あなたは、「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていますか。(〇は1つ)

- 1 言葉も意味も知っている
- 2 言葉は聞いたことがあるが、意味は知らない
- 3 言葉も意味も知らない(今回初めて聞いた場合も含む)

問13 ユニバーサルデザインについて、あなたが重要だと思うものは何ですか。

(あてはまるものに2つまで〇をつけてください)

- 1 わかりやすいパンフレット類の作成、配布
- 2 講演会やセミナーの開催
- 3 学校教育・社会教育の充実
- 4 先進的取組の情報収集・紹介
- 5 さまざまな人との交流の場や機会の設置
- 6 広報紙やホームページなどによるPR
- 7 動画やSNSによるPR
- 8 著名人を招いたシンポジウムの開催
- 9 その他 ( )

問14 ユニバーサルデザインについて、あなたが区に期待することは何ですか。

(あてはまるものに3つまで〇をつけてください)

- 1 ユニバーサルデザインを取り入れた施設整備
- 2 教育、人づくりなどの人材育成
- 3 ホームページや各種広報媒体による情報提供の充実
- 4 ユニバーサルデザインを取り入れた施設等の見学・体験会
- 5 地域や企業へのユニバーサルデザインアドバイザー派遣
- 6 その他 ( )

## テーマ5 広報新宿について

新宿区では、広報新宿の紙面を新聞折込や個別配達、区内の駅等で配布するほか、区ホームページ等に掲載し、多くの区民の皆様にご覧いただけるようにしています。また、デザインの統一や文字量を減らす等、広報新宿を読みやすくするための工夫をしています。

※広報新宿については、同封の資料1・2をご覧ください。

問15 広報新宿を毎月5日、15日、25日の3回発行していますが、読んでいますか。

(〇は1つ)

1 よく読む	→ 問15-1へ
2 たまに読む	
3 あまり読まない	
4 読まない	→ 問16へ
5 (広報新宿を)知らない	

問15-1 問15で、「1」～「3」に〇をした方にお伺いします。

広報新宿は紙面のほか、新宿区ホームページやマチイロ・マイ広報紙(※)ではパソコン・スマートフォンなどで読むことができます。どの媒体でご覧になっていますか。

(あてはまるものいくつかでも〇をつけてください)

1 紙面	→ 問15-2、問15-3へ
2 新宿区ホームページ	
3 マチイロ	
4 マイ広報紙	
5 その他 ( )	

(※) マチイロ

区市町村の広報紙を閲覧できるスマートフォン・タブレット向けアプリ

(※) マイ広報紙

広報紙の内容を読むことができるサイト

問15-2 問15-1で、「1 紙面」に○をした方にお伺いします。  
広報新宿をどこで入手していますか。

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

- 1 新聞折込
- 2 自宅への配達 (ポスティング)
- 3 区役所や区の施設 (特別出張所や図書館等)
- 4 駅
- 5 郵便局
- 6 新聞販売店
- 7 スーパーマーケット・コンビニエンスストア
- 8 その他 ( )

問15-3 問15-1で、「1 紙面」に○をした方にお伺いします。

広報新宿を読みやすくするため、令和4年4月5日号から、字体の変更や文字量の削減、紙質の変更などの改善を行いました。広報新宿は読みやすくなったと思いますか (同封の資料1・2を参照)。

(○は1つ)

- 1 思う
  - 2 どちらかといえば思う
  - 3 どちらかといえば思わない
  - 4 思わない
  - 5 改善に気づかなかった
  - 6 その他 ( )
- 問15-4へ

問15-4 問15-3で、「1」または「2」に○をした方にお伺いします。

読みやすくなった改善点は何ですか。

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

- 1 字体が変わった
  - 2 余白が増えた
  - 3 文字量が減った
  - 4 紙が白くなった
  - 5 内容がわかりやすくなった
  - 6 1面 (表紙面) が良くなった
  - 7 その他 ( )
- 問15-5へ

問15-5 問15-4で、「6 1面(表紙面)が良くなった」に○をした方にお伺いします。

1面(表紙面)が良くなったと思うところはどこですか。

(あてはまるものにいくつでも○をつけてください)

- 1 読みやすくなった
- 2 内容が分かりやすくなった
- 3 目に留まる紙面になった
- 4 手に取りたくなる紙面になった
- 5 その他 ( )

問16 広報新宿を読みやすくするためには、どのような改善をしたらよいと思いますか。

(あてはまるものに3つまで○をつけてください)

- 1 写真や図表、イラストを増やす
- 2 文字量を減らす
- 3 カラー面を増やす
- 4 情報の対象者(くらし・福祉・子ども等)をわかりやすくする
- 5 目次を大きくする
- 6 今のままでよい
- 7 その他 ( )

## テーマ6 苦情処理機関「区民の声委員会」について

区は、区政に関する苦情を公正・中立な立場で処理する第三者的な機関である区民の声委員会を設置しています。区民の声委員会とは、区民の方などから寄せられた区政に関する苦情を3人の委員が第三者的な立場から公正・中立に処理する機関です。例えば「受けられるはずのサービスが受けられなかった」「区には直接言いたくない」等のことについてご相談いただけます。

中立性やプライバシーの保護には特に配慮していますので、安心してご利用ください。

問17 あなたは、苦情の申し立てをできる、相談できる制度として「新宿区区民の声委員会」が、区にあることを知っていますか。(〇は1つ)

1 知っている

2 知らない

問18 あなたは、苦情処理機関「新宿区区民の声委員会」を利用したいと思うことがありますか。(〇は1つ)

1 現在ある

2 過去にあった

3 ない



—— 引き続き、回答者の属性のご記入をお願いします ——

※調査結果を統計処理する際に必要ですので、以下の回答者の属性もご記入ください。

※調査票についている「整理票」は、ご協力のお礼をお送りするために必要ですので、取り外さずにそのままご返送ください。区に到着後、整理票は調査票から取り外して保管しますので、調査票から個人が特定されることはありません。

## 回答者の属性

問ア あなたのお住まいの地域（所管する特別出張所の地域）をお選びください。（〇は1つ）

- |       |           |
|-------|-----------|
| 1 四谷  | 6 戸塚      |
| 2 簗笥町 | 7 落合第一    |
| 3 榎町  | 8 落合第二    |
| 4 若松町 | 9 柏木      |
| 5 大久保 | 10 角筈・区役所 |

問イ 性別をお答えください。（〇は1つ）

- |      |      |       |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 ( ) |
|------|------|-------|

問ウ あなたの年齢（満年齢）を、次の中からお選びください。（〇は1つ）

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1 18～19歳 | 8 50～54歳  |
| 2 20～24歳 | 9 55～59歳  |
| 3 25～29歳 | 10 60～64歳 |
| 4 30～34歳 | 11 65～69歳 |
| 5 35～39歳 | 12 70～74歳 |
| 6 40～44歳 | 13 75～79歳 |
| 7 45～49歳 | 14 80歳以上  |



問カ あなたは新宿区に住んで何年になりますか。(〇は1つ)

1 1年未満	5 10年以上20年未満
2 1年以上3年未満	6 20年以上30年未満
3 3年以上5年未満	7 30年以上
4 5年以上10年未満	

問キ 現在のあなたの住宅の形態は、次のうちどれですか。(〇は1つ)

一戸建て	集合住宅
1 持ち家の一戸建て	5 分譲マンション・アパート (自己所有のものを含む)
2 賃貸の一戸建て	6 賃貸マンション・アパート
3 社宅・公務員官舎の一戸建て	7 賃貸のUR都市機構(旧公団) ・公社のマンション・アパート
4 その他 ( )	8 賃貸の都営・区営住宅
	9 社宅・公務員官舎
	10 その他 ( )

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

お手数をおかけしますが、同封の返信用封筒にて、

**整理票を取り外さず、**

**11月18日(金)**までにご返送ください。

(返送・問合せ先)

〒160-8484 新宿区歌舞伎町1-4-1

新宿区総合政策部 区政情報課 広聴係

電話 03-5273-4065 (直通)

FAX 03-5272-5500

令和4年度第3回新宿区区政モニターアンケート

令和5年2月発行

編集・発行

新宿区総合政策部区政情報課広聴係

東京都新宿区歌舞伎町1-4-1

電話(03)5273-4065(直通)

印刷物作成番号

2022-28-2106

この印刷物は、業者委託により320部印刷製本しています。その経費として、1部あたり288円(税込み)がかかっています。ただし、編集時の職員人件費や配送経費などは含んでいません。



